

市 民 交 流 課

○ 出会い・結婚支援関係 (款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 企画費

「いせ出会い支援センター」を拠点に、結婚を望む本人や家族からの相談対応、出会いの場となる婚活イベントの開催及び情報提供を行い、結婚を希望する人が結婚できる地域社会の実現を目指した。「いせ出会い支援センター」については、同場所で三重県が設置している「みえ出逢いサポートセンター・南勢サテライト」との役割分担を整理し、令和8年3月31日をもって開設を終了した。

Ⅰ いせ出会い支援センター運営事業

(1) 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
いせ出会い支援センター運営にかかる業務委託	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	円 9,683,300	株式会社デルタスタジオ

(2) 利用者件数

性 別	来 所	電 話	メー ル	相 談	チ ラ シ	計
男 性	659件	165件	282件	179件	779件	
女 性	592	77	117	83		
計	1,251	242	399	262	779	2,933

(3) 婚活イベントの開催

市内又は近隣市町に在住・在勤している独身男女及び伊勢市に興味のある独身男女を対象に、出会いイベントを開催した。

開催日	場 所	内 容	参加人数
7. 7. 27	県営サンアリーナ レセプションルーム	「恋活サマーパーティ」 第1部 25歳～34歳、第2部 30歳～39歳の2部制 1対1トークタイム、投票等	42人
7. 10. 5	神岳テラス	「秋恋ピクニック」 24歳～32歳 1対1トークタイム、投票等	24
7. 12. 14	県営サンアリーナ レセプションルーム	「恋活クリスマスパーティ」 第1部 25歳～34歳、第2部 30歳～39歳の2部制 1対1トークタイム、投票等	55

(4) 恋活マッチングサポート

利用者が登録プロフィールを閲覧し、趣味や結婚観、休日の過ごし方等価値観が合う相手と顔合わせを行うことをサポートし、出会いの機会を提供した。

- ・登録者数 57人
- ・閲覧者数 112人
- ・引き合わせ数 28組

(5) 企業の結婚支援促進事業

市内及び定住自立圏域内市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせおすび」への登録を促進した。

登録企業数 210社（8.3.31現在）

(6) 希望を叶えるライフプラン講義の開催

皇學館大学の協力のもと、大学生が伊勢志摩地域で仕事、結婚、子育ての希望を叶える地域づくりの必要性について講義を行った。

- ・開催日 令和7年11月21日（金）
- ・場所 皇學館大学
- ・講師 株式会社 デルタスタジオ 代表取締役 若林 辰也氏
- ・参加人数 大学生 68人
- ・内容 伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅱ
少子化の進行、未婚化・晩婚化、独身者を取り巻く環境・状況
いせ出会い支援センターの取り組み、自身の希望が叶うライフプランづくり、働きたい会社、働き続けられる会社とは

2 伊勢市版婚姻届等の提供

少子化対策及びシティプロモーションの一環として、株式会社リクルートの専用サイト上で地域の生活情報や観光情報の発信及び伊勢市独自の婚姻届・出生届をダウンロードできるようにし、結婚・出産のイメージアップを図った。なお、出生届については、掲載サイトが令和8年3月31日をもって運営終了したことから、同日をもって提供を終了した。

- ・ダウンロード数
- 婚姻届 708件
- 出生届 85件

○ 男女共同参画関係 （款）2. 総務費（項）1. 総務管理費（目）8. 男女共同参画推進費

1 男女共同参画推進事業

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第4次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取組を行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

(1) パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやる日として条例で定めた「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

実施日	場 所	内 容
7. 8. 4 ～ 7. 8. 18	伊勢市役所本館	懸垂幕の掲揚
	伊勢市役所本館1階 市民ホール	パネル展示
	伊勢市健康福祉ステーション（MiraISE 5～7階）	ポスター掲示
7. 8. 1 ～ 7. 8. 15	—	C A T Vナレーション放送による周知
7. 11. 8	ハートプラザみその ウェルフェアホール （多目的ホール）	高尾美穂講演会「からだとこころにやさしい生き方講座 ～生きづらさへのヒント～」 ・参加人数 272人

(2) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画に関する機運の醸成や意識啓発を効果的に行うことを目的に、毎年、男女共同参画週間を中心に開催している。令和7年度は、本市を含めた県内19会場で開催した。

開催日	場 所	内 容	参加人数
7. 6. 7	ハートプラザみその ウェルフェアホール （多目的ホール）	映画「ごはん」上映会 （農業分野における男女共同参画に関する 取組紹介）	人 255

(3) その他男女共同参画に関する啓発

開催日	場 所	内 容	参加人数
7. 6. 23 ～ 7. 6. 30	伊勢市役所 本館1階 市民ホール	男女共同参画週間におけるパネル展示等	—
7. 8. 3	ハートプラザみその ウェルフェアホール （多目的ホール）	夏休み親子映画祭「怪盗グルーのミニオン超 変身」上映会 （男女共同参画に関する絵本「みっちとき りー」に関する啓発コーナーを設置）	186人
7. 11. 11 ～ 7. 11. 25	伊勢市役所 本館1階 市民ホール	「女性に対する暴力をなくす運動」に関する パネル展示等	—
8. 3. 7	シンフォニア テクノロジー 響ホール伊勢 2階展示室	子育てとジェンダーの『はて？』を考えるワ ークショップ ～子どもの翼を折らないた めに 親としてできること～	17人

2 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」を活用し、公募市民の企画編集による啓発

記事「めざそや！共同参画」や、男女共同参画に関するロールモデルへのインタビュー記事「伊勢の輝くひと」等を掲載した。

発行日	内 容
6月15日号	考えてみよう「ジェンダー平等」（男女共同参画週間の啓発）
8月1日号	めざそや！共同参画「アンコンシャス・バイアスの代表的な6つの種類」
8月15日号	8月17日はパートナーの日
11月15日号	女性に対する暴力をなくす運動の啓発
3月1日号	めざそや！共同参画 「自分の中にあるアンコンシャス・バイアスを探してみよう」
3月15日号	伊勢の輝くひと 加藤 彩 氏（伊勢市消防団 団本部・副分団長）

3 ワークライフバランス推進事業

伊勢市で将来的に結婚を考えているカップルや、子育てを見据えた夫婦、妊娠・出産・育児期の夫婦が家庭内のジェンダーギャップを解消し、夫婦それぞれが互いを個人として尊重し、協力してワークライフバランスを実現できるよう、「夫婦の対話」をサポートすることを目的としたセミナーを開催した。

講 師 Logista株式会社 共同代表 長廣 百合子氏・長廣 遥氏

開催日	場 所	内 容	参加数
7.11.24	伊勢市健康福祉 ステーション 健康増進室 (MiraISE5階)	夫婦会議ではじめる共育てライフ【入門編】 パパ&ママのための「夫婦会議の始め方講座」 産前・産後のリアルに基づく講話・自分の本音 と向き合うワーク・対話方法のレクチャー 等	5組 9人 (傍聴2人)
7.12.20	オンライン	夫婦会議ではじめる共育てライフ【実践編】 夫婦会議の実践会 参加者とオンラインで交流しながら、夫婦会議 を实践	3組 6人

4 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問を実施した。また、事業者等における男女共同参画推進の取組を促進するため、積極的に取り組んでいる事業者等を表彰した。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内 容
7.11.17 ～ 7.11.28	市内企業 11社	働きやすい職場づくり、女性管理職登用等の啓発

(2) 男女共同参画推進事業者等の表彰

- ・女性の活躍推進「きらり」賞 吉川建設株式会社
- ・仕事と生活の調和実践賞 吉川建設株式会社、有限会社あびや

5 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

開催日	内 容	出席委員数
7. 7.24	・ 第3次伊勢市総合計画 後期基本計画の策定に係る多様な意見聴取について ・ 令和6年度実施状況報告書（案）について ・ 男女共同参画推進事業者等表彰選考委員会の設置について	14/16 人
8. 1.26	・ 令和7年度実施状況報告書（案）について ・ 男女共同参画推進事業者等表彰について（報告） ・ 男女共同参画推進事業者等表彰制度の見直しについて	14/16

6 DV等被害者にかかる事務

（申出件数）

新規	解除	変更	継続
28 件	22 件	9 件	32 件

○ 市民交流関係 （款）2. 総務費（項）1. 総務管理費（目）17. 市民交流推進費

1 市民活動促進事業

（1）いせ市民活動センター運営業務

平成16年4月にいせ市民活動センターを開設し、同年7月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

指定管理者 特定非営利活動法人いせコンビニネット

指定管理料 19,650,000 円（年額）

指定管理期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日（1年間）

- ・ 市民活動の活性化を図るため市民活動に関する各種相談対応（相談件数 73 件）。
- ・ 市民活動に関する情報を、センター内に設置する情報コーナーや、ホームページ、SNS、情報誌「パルティ」（年3回発行）など様々な媒体を通じ発信。
- ・ 市民活動を促進させるため、様々な市民団体等が交流・情報交換する機会を提供

開催日	場 所	内 容	参加状況
7. 7.12	いせトピア 多目的ホール	第9回「ダンスワールド in 伊勢」	250 人
7. 8.17	オンライン	令和7年度「登録団体交流会」	6 団体
7. 9.20	いせトピア 3階研修室	防災講演会「伊勢市の防災リスク」	25 人
7.11. 9	ハートプラザみその ウェルフェアホール （多目的ホール）・ホワイエ	第14回いせ市民活動フェスティバル	30 団体 250 人
7.12.20	伊勢商工会議所 5階大ホール	第32回「ミュージックコミュニケーション」	40 人

(2) いせ市民活動センター管理業務

施設利用の登録、使用許可、施設・設備及び機器の維持管理を行った。

(施設稼働状況)

	北 館					南 館 (注1)		いせトピア れいんぼう ルーム (注2)
	平 均 稼 働 率				利用者数	平 均 稼働率	利用者数 (貸館+窓口)	利用者数 (窓口のみ)
	多目的 ホール	A会議室	B会議室	I F ホール				
6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	% 14.8	% 30.9	% 30.0	% 14.8	人 12,873	% 16.7	人 9,518	
7. 4. 1 ～ 8. 3. 31						14.9	1,523	人 527

平均稼働率・・・稼働実績時間数/(稼働可能時間(11時間)×稼働可能日数×100

(注1) 改修工事着工前の令和7年4月1日から令和7年6月15日までの平均稼働率及び利用者数並びに令和8年3月26日から令和8年3月31日までの利用者数

(注2) 改修工事に伴う事務所移転期間である令和7年7月1日から令和8年3月10日までの利用者数。

(登録団体数)

基準日	6. 3. 31	7. 3. 31	8. 3. 31
登録団体数	167	164	160

(3) いせ市民活動センター改修事業

施設全体の老朽化した設備を更新し、北館2階を伊勢市歴史博物館へ転用するため改修工事及び関連業務を実施した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
岩 淵 1 丁 目 地 内	いせ市民活動センター 引越業務委託	引越業務 一式	円 1,636,800	7. 5. 14	8. 3. 17
〃	(注1) いせ市民活動センター 改修工事監理業務委託	監理業務 一式	5,589,100	7. 7. 15	8. 3. 13
〃	(注2) いせ市民活動センター ほか Wi-Fi 環境整備業 務委託	Wi-Fi 環境整備業務 一式	866,800 【契約額】 1,516,900 [市民交流課] 866,800 [文化政策課] 650,100	8. 2. 9	8. 3. 23
計	3 件	—	8,092,700	—	—

(注1) 営繕課施行

(注2) 文化政策課より執行委任

その他 いせ市民活動センター産業廃棄物収集運搬・処分業務委託他4件 2,419,560円

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
岩淵1丁目地	(注) いせ市民活動センター 改修工事(建築工事)	内外装改修一式 エレベーター棟増築 :鉄骨造2階建て 延床面積 27.7㎡	円 361,828,500	7.7.2	8.2.27
〃	(注) いせ市民活動センター 改修工事(電気設備工 事)	電気設備改修 一式	191,244,900	7.7.2	8.2.27
〃	(注) いせ市民活動センター 改修工事(機械設備工 事)	機械設備改修 一式	174,341,200	7.7.2	8.2.27
〃	(注) いせ市民活動センター 案内サイン設置工事	案内サイン設置 一式	1,661,000	8.2.27	8.3.27
計	4件	—	729,075,600	—	—

(注) 営繕課施行

その他 いせ市民活動センター改修に伴う電話線移設工事他1件 201,300円

(4) 市民公益活動促進委員会

いせ市民活動センターの施設運営にとどまらず、広く市の市民公益活動促進について有識者による調査審議を行った。

開催日	場所	主な内容
7.7.30	オンライン	令和6年度いせ市民活動センターの管理運営状況について
8.2.17	オンライン	令和7年度いせ市民活動センター中間報告について

2 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事として、団体の代表者等からなる実行委員会により企画・運営を行った。

日時	令和7年10月11日(土)午前9時40分～午後9時 令和7年10月12日(日)午前9時40分～午後5時
場所	県道鳥羽松阪線(宮町交差点)～伊勢市駅周辺
内容	・幼稚園児のマーチング、楽器演奏、よさこいソーラン、ダンス等のイベント ・ねぶた飾り車や神輿、お木曳車の運行等のパレード ・市内団体、事業者を中心とした展示、販売ブース ・市制20周年企画として、市内の高校生や大学生による出店エリアを設置

来場者数	10 万人（11 日：4 万人、12 日：6 万人）
参 加 者	・パレード・イベント 延べ 48 団体 2,533 人 ・出展・出店 延べ 136 団体 837 人 ・市制 20 周年企画 延べ 8 校 113 人
広 報	・ポスター1,000 枚 パンフレット 20,000 部 作成 ・伊勢市公式 HP、SNS、広報いせ及び行政チャンネルにて情報発信

3 伊勢市矢持会館管理事業

農林漁業体験実習館を、平成 23 年 4 月 1 日から名称を変更し、指定管理者制度を導入して公設民営の集会施設として運営している。地域住民のふれあいの場に供し、交流活動を通じた地域づくりの推進を図っている。

指 定 管 理 者	矢持町下村区
指 定 管 理 料	250,000 円（年額）
指定管理期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日（5 年間）
利 用 者 数	460 人（令和 7 年度）

○ コミュニティセンター関係 （款）2. 総務費（項）1. 総務管理費（目）17. 市民交流推進費

Ⅰ 地区コミュニティセンター維持管理

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。地域活動のための場として地域住民が貸室及び図書分室を利用している。

（1）工事

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
上 地 町 地 内	（注） 城田地区コミュニティセ ンター防水改修工事	防水改修一式	円 4,620,000	7. 7. 1	7. 8. 12
上 野 町 地 内	沼木地区コミュニティセ ンター空調機取替工事	空調機更新一式	418,000	7. 9. 24	7. 11. 14
西 豊 浜 町 地 内	豊浜地区コミュニティセ ンター自動ドア修繕工事	自動ドア修繕一 式	312,070	7. 12. 10	8. 1. 17
上 地 町 地 内 ほ か	城田地区コミュニティセ ンターほか駐車場区画線 塗装工事	駐車場区画線塗 装一式	418,000	8. 1. 23	8. 3. 13
計	4 件	—	5,768,070	—	—

（注）営繕課施行

（2）修繕

北浜地区コミュニティセンター花壇修繕工事 他 18 件 927,597 円

(3) コミュニティセンター使用状況

ア 大湊地区コミュニティセンター

会議室利用状況			
会議室 1	会議室 2	計	利用人数
件 27	件 11	件 38	人 533

イ 浜郷地区コミュニティセンター

会議室利用状況			
会議室 1	会議室 2	計	利用人数
件 160	件 12	件 172	人 2,037

ウ 宮本地区コミュニティセンター

会議室利用状況			
会議室 1	会議室 2	計	利用人数
件 171	件 84	件 255	人 3,303

エ 豊浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況			
会議室 1	会議室 2	計	利用人数
件 88	件 31	件 119	人 888

オ 北浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況			
会議室 1	会議室 2	計	利用人数
件 184	件 18	件 202	人 2,447

カ 城田地区コミュニティセンター

会議室利用状況			
会議室 1	会議室 2	計	利用人数
件 83	件 146	件 229	人 2,043

キ 沼木地区コミュニティセンター・伊勢市沼木農村環境改善センター

会議室利用状況			
会議室	生活研修室	計	利用人数
件 29	件 35	件 64	人 701

○ 地域自治推進関係 (款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 18. 地域自治推進費

Ⅰ 地域自治推進事業

(1) ふるさと未来づくりの取組

平成 27 年度から本格稼動したふるさと未来づくり制度を推進し、地域自治の実現を図った。

23 地区のまちづくり協議会において、地域住民が地域課題を見つけ出し、課題解決に向けて取り組んだ。

(2) 広報活動

ふるさと未来づくりの周知・啓発を図るため、まちづくりの必要性やまちづくり協議会の活動事例について紹介するリーフレットを配布するとともに、動画を制作しケーブルテレビ及び YouTube での発信を行った。また、広報いせ令和 8 年 4 月 1 日号に特集記事を掲載し、まちづくり協議会の活動に取り組む人の思いや活動内容などを発信した。

伊勢市ホームページに各まちづくり協議会のホームページへのリンクを掲載し、活動を紹介した。

(3) ふるさと未来づくり意見交換会の開催

23 地区のまちづくり協議会が集まり、抱えている課題等について話し合う場として、意見交換会を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者
7. 8. 29	いせトピア 3 階 研修室 1・2	まちづくり協議会意見交換	40 人 (会場 32 人、オンライン 8 人)
8. 2. 13	御園公民館 2 階 講堂	・臨時特例事業の成果発表 ・「多様な主体との連携・参加促進」を考えるワークショップ ※意見交換会とワークショップを同時開催	47 人 (まちづくり協議会 41 人、 企業・団体 6 人)

(4) まちづくり協議会への財政支援

まちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。

また、まちづくり協議会が実施する防災機能強化等地域課題解決のための事業に対し、活動事業費（臨時特例分）を交付した。

交付金額：194,502,286 円

＜事務運営費・活動事業費（世帯割額除く）＞ 81,693,955 円

- ・事務運営費（基本額） 39,673,363 円（23 団体）
- ・事務運営費（家賃補助分） 5,400,000 円（10 団体）
- ・事務運営費（集落支援員分） 10,000,000 円（17 団体）
- ・活動事業費（基本額） 22,679,027 円（23 団体）
- ・活動事業費（臨時特例分） 3,941,565 円（7 団体、10 件）

＜一括交付金化事業＞ 112,808,331 円（19 団体）

- ・活動事業費（世帯割額） 28,508,131 円
- ・広報紙配布等協力金（市の広報紙の配布協力金） 82,236,200 円
- ・広報紙配布等協力金（市が実施する廃棄物の減量等に関する啓発事業等に係る協力金）

2,064,000 円

(5) 地域を支える人材確保の推進

ア 集落支援員の配置

地域において意見交換やアンケート調査等により現状や解決すべき課題を把握し、地域コミュニティの維持・活性化に資する活動を行う人材として、まちづくり協議会で活動する人材に対し集落支援員を委嘱した。

・委嘱人数 17人

イ 「多様な主体との連携・参加促進」を考えるワークショップ ※再掲

臨時特例事業の成果発表会を基にまちづくり協議会の重点活動方針である「多様な主体との連携・参加促進」に焦点を当て、まちづくり協議会と企業・団体等が抱えている課題を共有し、お互いが連携できるところがないか、どのようにすれば実現するかを掘り下げて考えるワークショップを開催した。

・開催日 令和8年2月13日(金)

・ファシリテーター 皇學館大学 准教授 池山 敦 氏

・参加者 まちづくり協議会41人、企業・団体6人

(6) 地域活動に関わる市職員の育成

人口減少や少子高齢化、生活様式の変化や価値観の多様化等に伴い、地域活動や市民活動の担い手不足が顕著になっていることから、地域を支える人材の確保と育成を推進するため、各所属が主体的に取り組む関係事業の進行管理を行うとともに、市の将来を支える人材の育成に取り組んだ。

ア 地区担当職員会議の開催

新任地区担当職員向けにふるさと未来づくり制度について説明を行った。

・開催日 令和7年4月23日(水)

・内容 ふるさと未来づくり制度の概要、ふるさと未来づくり資金等について

・参加者 8人

<地区担当職員>

部課長級職員 94人

地区名	地区担当職員数
大湊、豊浜東、北浜、小俣、明野	各3人
進修、修道、明倫、有緝、厚生、早修、中島、神社、浜郷、佐八、宮山、豊浜西、東大淀、城田、四郷、今一色、御園	各4人
二見	5人
沼木	6人

イ 職員向け研修の開催

ふるさと未来づくりに対する理解をさらに深めるため、新規採用職員や人材育成カレッジ講座として一般職員を対象として研修を開催した。

- ・開催日 (新採) 令和7年7月11日(金)
(一般) ①令和7年9月19日(金)、②11月12日(水)
- ・内容 ふるさと未来づくり制度の概要、まちづくり協議会の取組、地域を支える人材の確保等について
- ・参加者 (新採) 36人
(一般) 計32人

(7) ふるさと未来づくり推進委員会

ふるさと未来づくりの取組を推進するため、重要事項の調査審議を行う場として推進委員会を開催した。

- ・推進委員 5人

開催日	内 容
7. 4. 21	・ 令和7年度臨時特例事業の審査について
7. 7. 28	・ 令和6年度まちづくり協議会の活動報告について ・ 令和7年度まちづくり協議会の進捗状況について ・ 令和8年度臨時特例事業の審査について ・ 意見交換

(8) 市民活動補償制度

ふるさと未来づくりでの活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた傷害事故や賠償責任事故を損害保険により、補償を行った。

- ・保険の名称 伊勢市市民活動補償制度保険
- ・保険期間 令和7年6月1日午後4時から令和8年6月1日午後4時まで
- ・契約金額 1,254,440円
- ・対象事故 傷害事故、賠償責任事故、特定疾病事故、一般疾病事故
- ・適用件数 7件(傷害補償6件、賠償責任補償1件)(令和7年4月1日～令和8年3月31日に報告のあった事故)

2 いせミライプロジェクト推進事業

地域活動人口の増加につなげるため、高校生が自らまちづくり活動を行う事業を実施した。

- ・対象 市内在住または市内の高校に通う高校生 22人

(1) 伊勢の農産物を使用したスイーツによるPR活動

特産物の蓮台寺柿と伊勢産のさつまいも(紅はるか)を使用したスイーツ「いせミライタルトレット」を企画提案し、協力事業所が商品化及び販売した。

(2) 地域行事のPR活動

伊勢河崎商人館で開催されている「伊勢のだいどこ市」において、河崎にまつわるクイズや物づくり体験のブース「ミラプロわくわく工房」を出店し、伊勢の地域行事をPRした。

・実施日 令和8年1月25日(日)

(3) 人と人とのつながりができるきっかけづくり

年齢や障がいの有無を問わず参加できるイベント「いせミライスポーツ大会」を実施し、参加者同士の交流を通じて地域住民のつながりを深めた。

・実施日 令和8年2月8日(日)

○ 自治会関係 (款) 2. 総務費(項) 1. 総務管理費(目) 18. 地域自治推進費

1 区長謝礼事業

自治会の活動について、行政委員等の候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を年度末に交付した。(報償費総額 7,440,000 円)

2 自治会集会所建設等事業補助金

地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する自治会集会所の建設、修繕及び空調設備整備に要する費用の一部を補助した。(交付自治会数 6 自治会)

補助種別	自治会名	補助金額
建設	三軒屋自治会	円 5,000,000
修繕	五十鈴ヶ丘団地自治会	1,000,000
	通町自治会	1,000,000
	京町自治会	875,000
空調設備整備	北本町自治会	1,000,000
	六軒屋自治会	237,000
合 計	6 自治会	9,112,000

3 コミュニティ助成事業

(一財) 自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

団体名	補助金額	事業内容
勢田町町内会	円 2,500,000	会議用机他コミュニティ活動備品の整備
計	2,500,000	

4 自治会活動補助事業

(1) 地区振興助成金事業

市内 54 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため、助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	地区振興助成金		
			平等割	世帯割	計
本庁管内	自治会 10	世帯 1,449	円 500,000	円 507,150	円 1,007,150
支所管内	15	3,379	750,000	1,182,650	1,932,650
小俣総合支所管内	29	9,073	1,450,000	3,175,550	4,625,550
計	54	13,901	2,700,000	4,865,350	7,565,350

(2) 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が主体的に取り組む事業に対して補助金を交付した。

- ・対象自治会数 54 自治会
- ・交付自治会数 37 自治会
- ・交付金額 1,688,000 円
- ・対象事業

事業区分	件数
ア 地域に根ざした伝統文化の継承事業	3 件
イ 地域の特性を生かした地域おこし事業	1
ウ 地域内の清掃美化等の環境保全事業	25
エ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業	1
オ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業	4
カ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業	3
キ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業	58
ク その他市長が特に必要と認める事業	0
計	95

(3) 広報紙配布等事業

市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して、交付金を交付した。

- ・交付自治会数 54 自治会
- ・交付金額 27,461,800 円

5 地域活動デジタル化促進事業

自治会及びまちづくり協議会のデジタル活用を促進することにより、地域活動及び市への各種申請手続きの効率化・負担軽減、若い世代の参加促進を図るため、デジタル化に関心・意欲を持

つ自治会及びまちづくり協議会を対象に、アドバイザー派遣を行った。

また、自治会の活動のデジタル化を促進するため、デジタル化を実施する自治会に対し、補助金を交付した。

(1) アドバイザーの派遣

派遣期間：令和7年4月23日から令和8年3月13日まで

派遣回数	派遣団体数	派遣団体数（回数別）				内容
		1回	2回	3回	4回以上	
74回	28団体	8団体	5団体	8団体	7団体	・デジタルツール（LINE等）を用いた情報発信と連絡網構築 ・ホームページの活用方法 ・事務負担の軽減方法等

(2) 伊勢市自治会デジタル化促進事業補助金

- ・交付自治会数 8自治会
- ・交付金額 528,000円
- ・対象事業

事業区分	のべ件数
ア インターネット回線引込み	1件
イ デジタル関連機器の購入	8
ウ アプリ、システム又はセキュリティソフトの導入	3
エ その他（市長が認めるもの）	0
計	12

6 伊勢市総連合自治会事務

各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市勢の発展に寄与することを目的として活動している伊勢市総連合自治会へ補助金を交付した。

7 認可地縁団体等関係

地方自治法第260条の2の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可に向けた自治会等からの相談及び認可事務を行った。

- ・地縁団体認可団体数 5団体
- ・累計認可団体数 112団体

8 支所の組織・機能のあり方の検討

伊勢市支所の組織・機能のあり方検討委員会において、支所業務の代替措置として外部委託等の方向性の検討や、将来的な支所機能廃止を見据えた支所業務の段階的な整理を行うための数値根拠資料の把握及び関係各課への照会を行った。

○ 国際交流関係 (款) 2. 総務費 (項) 2. 総務管理費 (目) 19. 国際交流事業費

Ⅰ 国際交流推進事業

(1) 伊勢市国際交流協会との協働

会員数 個人会員 79 人、企業・団体会員 4 団体 (令和 8 年 3 月末)

市民の国際交流を促進するとともに、在住外国人への支援を通じ、伊勢市での国際相互理解を深めることに寄与することを目的として活動する伊勢市国際交流協会と協働し、国際交流・多文化共生に関する事業を推進した。

ア 在住外国人のための日本語教室

開催日 毎週火曜日 10:00~11:30 37 回開催
毎週木曜日 19:00~20:30 40 回開催
毎週日曜日 10:00~11:30 37 回開催

場所 令和 7 年 4 月 1 日~6 月 15 日 いせ市民活動センター南館 2 階
令和 7 年 6 月 17 日~令和 8 年 3 月 19 日 伊勢市社会福祉協議会 福祉センター 2 階和室

参加人数 学習支援ボランティア (協会会員) 延べ 1,616 人
学習者 (外国人) 延べ 1,209 人

イ 在住外国人のための日本語教室 (オンライン)

開催日 令和 7 年 4 月~令和 8 年 3 月 随時 (82 回開催)

実施方法 オンライン会議ツール (Zoom)

参加人数 学習支援ボランティア (協会会員) 延べ 82 人
学習者 (外国人) 延べ 82 人

ウ 外国人への日本語学習支援者養成講座

開催日	場 所	講座名	講 師	参加人数
7. 6. 21	いせトピア 3 階 研修室 1・2	外国人への日本語 学習支援者養成 講座 (1 回目)	松岡 知津子 氏	人 14 (うちオンライン 3)
7. 6. 28	いせトピア 3 階 研修室 1・2	外国人への日本語 学習支援者養成 講座 (2 回目)	松岡 知津子 氏	16 (うちオンライン 3)
7. 11. 22	いせトピア 2 階 学習室 2	やさしい日本語で 地域の外国人と 交流しよう	船見 和秀 氏	21
7. 12. 13	いせトピア 3 階 研修室 1・2	三市 (伊勢市・鳥羽 市・志摩市) 合同 日本語学習支援者 養成講座	鈴木 崇夫 氏	21

エ いせ国際交流日本語スピーチ大会

主に市内及び周辺地域に暮らす在住外国人に、国際交流・多文化共生について日本語発

表する機会を提供するとともに、一般観覧者を募集し、市民の異文化理解と国際感覚の醸成を促進するスピーチ大会を行った。

開催日 令和8年2月7日（土）

場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室

参加人数 10人

観覧人数 60人

オ 外国語講座（初心者向けベトナム語講座）

開催日 令和7年5月24日（土）、6月7日（土）、6月14日（土）、
6月21日（土）、6月28日（土）

場所 いせトピア 学習室3 ※6月7日（土）は、いせトピア 研修室1・2

講師 富岡・キム・アイン 氏

参加人数 13人

カ 世界の料理パーティ ベトナム編

開催日 令和7年9月14日（日）

場所 いせトピア 2階調理室

講師 レティ ニュン 氏

参加人数 15人

キ 伊勢市市制20周年記念事業 伊勢市国際交流デー

伊勢市の市制20周年を記念し、国際交流・多文化共生の啓発を目的に、市民の異文化理解と国際感覚の醸成を促すイベントを実施した。

開催日 令和8年2月15日（日）

場所 ハートプラザみその ウェルフェアホール（多目的ホール）

来場者 300人

内容 ステージイベント 7団体、ブース・パネル出展 10団体

（2）外国人を対象とした防災説明会

大規模災害発生時の外国人への支援を円滑に行うため、外国人を対象とした防災説明会を実施した。

開催日	場所	内容	参加人数
8. 2. 1	防災センター	外国人を対象とした防災説明会	26人

○ 災害ボランティアセンター関係

（款）10. 消防費（項）1. 消防費（目）5. 災害対策費

災害ボランティア支援事業

「伊勢市災害ボランティアセンターの設置と運営等に関する協定」に基づき、社会福祉協議会

と協働で、伊勢市災害ボランティアセンターを運営した。災害時以外も常時開設し、各種研修事業を実施したほか、災害時に備えた関係団体・機関等との協力支援体制構築に取り組んだ。

会議・研修

開催日	場 所	内 容	参加人数
7. 7.25	防災センター 防災研修室Ⅰ	伊勢市災害ボランティアセンター連絡会	11人
7.11.15	防災センター 防災研修室Ⅰ	災害ボランティア入門講座	18
7.12.14	伊勢市社会福祉協議会 福祉センター 多目的ホール	災害ボランティアコーディネーター養成講座	7
8. 1.24	ハートプラザみその ウェルフェアホール (多目的ホール)	災害ボランティアセンター運営研修会	67

戸 籍 住 民 課

○ 本庁関係

Ⅰ 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数

区 分	日本人	外国人	混合世帯	合 計
世 帯 数	55,059 世帯	1,247 世帯	230 世帯	56,536 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口

区 分		日本人	外国人	合 計
人 口	男	54,544 人	769 人	55,313 人
	女	60,608	928	61,536
	計	115,152	1,697	116,849

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況

区 分		件 数	人 数
届 出	転 入	3,066 件	3,611 人
	転 出	3,170	3,670
	転 居	1,837	—
	世 帯 変 更	1,306	—
	そ の 他	27	—
職 権	出 生	521	522
	死 亡	1,807	1,808
	職 権 消 除	14	—
	修 正	2,225	—
計		13,973	—

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口

戸 籍 数	58,699 戸籍
本 籍 人 口	136,884 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事 件 の 種 類	届 出	他市町村からの送付	合 計
出 生	411 件	320 件	731 件
婚 姻	429	898	1,327
離 婚	135	120	255

死 亡 ・ 失 踪	1,366 件	424 件	1,790 件
養 子 縁 組	33	38	71
養 子 離 縁	24	10	34
国籍の得喪・留保	11	11	22
本籍表示の変更	182	216	398
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	192	122	314
上記以外で身分に変更が生じるもの	20	11	31
訂 正 ・ 追 完	85	0	85
不 受 理 申 出	15	9	24
そ の 他	2	4	6
計	2,905	2,183	5,088

(注) 本庁及び支所分

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新 戸 籍 編 製	757 件
戸 籍 全 部 消 除	965
違 反 通 知	1
戸籍の再製・補完	0
そ の 他	0
計	1,723

(注) 本庁及び支所分

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	件 数
出 生	544 件
死 亡	1,860
死 産	8
婚 姻	463
離 婚	162
計	3,037

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 埋火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 火 葬	1,364 件	1 件	8 件	1,373 件

(注) 本庁及び支所分

(6) 民刑事項等処理状況

区 分	件 数
犯 罪 関 係 通 知	147 件
民 事 関 係 通 知	26
身 元 事 項 照 会	2,576

計	2,749 件
---	---------

(注) 伊勢市総数

(7) 伊勢市版出生届・婚姻届取扱件数

・出生届 9 件

・婚姻届 146 件

(注) 伊勢市総数

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住 民 票 の 写 し		本庁	29,775 件	2,988 件	32,763 件	5,955,000 円
		支所	4,239	38	4,277	847,800
住民票の除票の写し		本庁	2,019	1,473	3,492	403,800
		支所	181	2	183	36,200
広域交付住民票の写し		本庁	61	0	61	12,200
		支所	7	0	7	1,400
戸 籍 の 附 票 の 写 し		本庁	1,836	3,382	5,218	367,200
		支所	535	70	605	107,000
戸 籍 の 附 票 の 除 票 の 写 し		本庁	558	1,593	2,151	111,600
		支所	214	3	217	42,800
住民票記載事項証明		本庁	396	17	413	79,200
		支所	137	0	137	27,400
住民基本台帳閲覧		本庁	32	3	35	6,400
		支所	0	0	0	0
印 鑑 登 録 証 明		本庁	21,679	26	21,705	4,335,800
		支所	3,747	35	3,782	749,400
諸証明	身 分 証 明	本庁	791	0	791	158,200
		支所	138	0	138	27,600
	そ の 他	本庁	248	61	309	49,600
		支所	62	6	68	12,400
本 庁 計			57,395	9,543	66,938	11,479,000
支 所 計			9,260	154	9,414	1,852,000
合 計			66,655	9,697	76,352	13,331,000

(注1) 本庁分に郵送申請、コンビニ交付、オンライン申請を含む

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件

住民基本台帳の閲覧団体数 19 団体(うち公用 2 団体)

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収 入 金 額
			有 料	無 料	計	
戸 籍	全部事項	本庁	8,010 件	3,640 件	11,650 件	3,604,500 円
		支所	1,753	81	1,834	788,850
	謄 本	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	個人事項	本庁	2,233	85	2,318	1,004,850
		支所	601	0	601	270,450
	抄 本	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
除 籍	全部事項	本庁	1,476	1,442	2,918	1,107,000
		支所	451	12	463	338,250
	謄 本	本庁	5,831	7,410	13,241	4,373,250
		支所	1,971	79	2,050	1,478,250
	個人事項	本庁	35	1	36	26,250
		支所	13	0	13	9,750
	抄 本	本庁	25	8	33	18,750
		支所	3	0	3	2,250
記載事項	戸籍一部	本庁	3	17	20	1,050
		支所	0	2	2	0
	戸籍記載	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	届書記載事項	本庁	16	1	17	5,600
		支所	0	0	0	0
	除籍一部	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
除籍記載	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
受理証明	一般	本庁	398	0	398	139,300
		支所	2	0	2	700
	特別	本庁	68	0	68	95,200
		支所	0	0	0	0
閲 覧		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
広域交付	戸 籍	本庁	1,257	944	2,201	565,650
		支所	149	0	149	67,050
	除籍（現除）	本庁	232	436	668	174,000
		支所	51	0	51	38,250
	除籍（旧除・改製原）	本庁	1,610	3,651	5,261	1,207,500
		支所	299	0	299	224,250

電 子 証 明 書 識 別 符 号	戸 籍	本庁	1 件	0 件	1 件	400 円
		支所	0	0	0	0
	除籍（現除）	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	除籍（旧除・ 改製原）	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
届書等情報内容証明書		本庁	3	0	3	1,050
		支所	2	0	2	700
届書等情報内容閲覧		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
本 庁 計			21,198	17,635	38,833	12,324,350
支 所 計			5,295	174	5,469	3,218,750
合 計			26,493	17,809	44,302	15,543,100

（注）本庁分に郵送申請、コンビニ交付、オンライン申請を含む

（３）郵送請求処理件数

区分	有料	無料	返戻	取扱件数
戸籍関係証明	4,550件	3,295件	853件	17,653件
住民票関係証明	4,887	3,718		
諸証明関係（身分証明等）	311	39		
計	9,748	7,052		

（４）証明書等自動交付サービス（コンビニ交付）

全国のコンビニエンスストア等店舗において各種証明書が取得できるようにすることで、市民の利便性とサービス向上を図った。

各種証明書の発行状況

区分	件数	収入金額	交付率
戸籍全部事項	2,463件	1,108,350円	20.1%
戸籍個人事項	1,262	567,900	35.6
住民票の写し	16,827	3,365,400	41.1
戸籍の附票の写し	380	76,000	12.3
印鑑登録証明	14,794	2,958,800	48.6
合計	35,726	8,076,450	39.6

（注）交付率は、各区分ごとの伊勢市総数（本庁分、郵送申請、コンビニ交付、オンライン申請、支所分、総合支所分を含む）に対するコンビニ交付数の比率

（５）オンライン申請

住民票及び戸籍の証明書の「オンライン申請（スマート申請）」により、利用者が市役所の窓口やコンビニ等へ出向くことなく証明書を取得できるように、市民の利便性とサービス向上を図った。

各種証明書の発行状況

オンライン申請の 入 口 名 称	証明書の種別	入 口 別 申請件数	証明書別 発行件数	収入金額	返 戻 (差し戻し・ 取下げ)
住 民 票 の 写 し	住民票の写し	17 件	2 件	400 円	11 件
	住民票の除票の写し		12	2,400	
戸籍の附票の写し	戸籍の附票の写し	20	15	3,000	
	戸籍の附票の除票の写し		14	2,800	
戸 籍 ・ 改 製 原 ・ 除 籍 謄 (抄) 本	戸籍謄 (抄) 本 (戸籍全部 (個人) 事項証明)	40	38	17,100	
	改製原戸籍謄 (抄) 本		16	12,000	
	除籍謄 (抄) 本 (除籍全部 (個人) 事項証明)		5	3,750	
身 分 証 明 書	身分証明書	46	52	10,400	
独 身 証 明 書	独身証明書	45	46	9,200	
計		168	200	61,050	

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数 81,583 件 (伊勢市総数)

(2) 印鑑登録事務処理状況 (伊勢市総数)

区 分		件 数
増	登 録	3,187 件
	そ の 他	0
	計	3,187
減	廃 止	135
	亡 失	782
	死 亡	1,645
	転 出	1,171
	そ の 他	145
	計	3,878

5 支援措置関係

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票の写し発行抑止及び戸籍の附票の写し発行抑止を行った。

(1) 住民基本台帳事務における支援措置者数

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	51 人	53 人	104 人
他市からの支援要請	101	111	212
計	152	164	316

6 特別永住者関係

特別永住者証明書の交付申請等を受け、法務省へ申請書を送付し、届いた証明書を申請者へ交

付した。

特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
許 可	0 件	再 交 付（交 換 希 望）	0 件
証 交 付（法施行前未取得）	0	再 交 付（紛 失）	1
証 交 付（切 替）	0	有 効 期 間 更 新	18
再 交 付（汚 損 等）	0	記 載 事 項 変 更	0

7 マイナンバーカードの交付・電子証明書の発行状況

区 分		有 料	無 料	計	金 額
マイナンバー カード	通常	539 件	9,010 件	9,549 件	431,200 円
	特急発行	40	456	496	72,000
電子証明書	通常	537	20,367	20,904	107,400
	特急発行	40	456	496	8,000

（注）国外転出者向けマイナンバーカード分含む

（注）特急発行は、速やかに交付を受ける必要のある人（新生児やカード紛失等による再交付、国外からの転入者など特定の要件を満たした人）を対象に、通常は申請から交付まで 3～4 週間要するところ、1 週間程度で交付を行う制度（令和 6 年 12 月 2 日から開始）

<参考>伊勢市全体のマイナンバーカード保有率 81.3%

（1）窓口でのマイナンバーカード交付申請補助件数 3,587 件（支所取扱分 77 件含む）

（2）介護施設等へのマイナンバーカードの出張申請補助件数 2 件

8 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居表示事務を実施し、結果を申請者へ通知した。

新規付定

住 居	事 務 所	事業所等	その他	計
65 件 (18)	1 件 (0)	4 件 (0)	6 件 (0)	76 件 (18)

（注）（ ）はうち枝番号の付定数

変更

住 居	事 務 所	事業所等	その他	計
3 件 (3)	1 件 (1)	0 件 (0)	0 件 (0)	4 件 (4)

（注）（ ）はうち枝番号への変更数

9 自衛官募集事務

自衛隊法第 97 条に基づき、法定受託事務として自衛隊三重地方協力本部長から依頼を受け、下記の事務を行った。

(1) 募集対象者の情報提供

自衛隊法施行令第120条の規定に基づき、自衛官及び自衛官候補生の募集に関し必要となる情報（氏名、住所、生年月日及び性別）を提供した。

(2) 新規隊員募集の広報

懸垂幕掲示、広報いせへの掲載、文字放送及び啓発物品の配布を行った。

(3) 除外申請の周知

ホームページ及び広報いせで、募集対象者の情報提供から除外を希望するための除外申請の周知を行った。

10 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

安定した市民サービスと民間事業者の技術と創意工夫を活用した、より一層快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者に委託した。

(1) 業務内容

- ・ 証明書交付請求の受付
- ・ 証明書の発行・交付
- ・ 戸籍届出（出生・死亡・婚姻・離婚等）の受付・入力業務
- ・ 住民異動届の受付・入力業務 等

(2) 履行期間 令和6年1月1日から令和8年12月31日（3年間）

（契約締結日 令和5年8月22日）

(3) 契約金額 195,861,600 円（税込）

うち令和7年度分 65,287,200 円（税込）

(4) 委託業者 株式会社 ニチイ学館

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

11 戸籍への氏名の振り仮名記載関係

(1) 振り仮名確認業務

これまで戸籍上公証されていなかった氏名の振り仮名が戸籍に記載されることとなったため、「戸籍に記載される振り仮名の通知書」を発送し、戸籍に記載される予定の振り仮名を通知した。

- ・ 対象者 本籍が伊勢市にある人 ※代表して筆頭者に送付
- ・ 通知書発送件数 71,570 通
- ・ 振り仮名届出の状況 氏 192 件 名 567 件

(2) 窓口業務委託

窓口で増加する届出や問い合わせ等に対応するため、業務委託を行った。

- ・ 履行期間 令和7年8月1日から令和8年3月31日
- ・ 契約金額 11,209,440 円（税込）
- ・ 委託業者 株式会社 ニチイ学館

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

○ 支所関係

Ⅰ 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区 分	神 社 支 所	大 湊 支 所	浜 郷 支 所	宮 本 支 所	豊 浜 支 所
戸 籍	883 件 551,250 円	228 件 131,400 円	1,159 件 697,300 円	738 件 354,000 円	615 件 376,800 円
住 民 基 本 台 帳 関 係	762 152,400	299 59,800	1,171 225,400	769 140,400	482 96,200
印 鑑 証 明	376 75,200	245 49,000	653 130,200	454 90,200	520 100,000
諸 証 明	36 6,400	8 1,600	38 7,400	25 5,000	18 3,600
計	2,057 785,250	780 241,800	3,021 1,060,300	1,986 589,600	1,635 576,600
区 分	北 浜 支 所	城 田 支 所	四 郷 支 所	沼 木 支 所	合 計
戸 籍	588 件 352,250 円	611 件 366,000 円	457 件 278,150 円	190 件 111,600 円	5,469 件 3,218,750 円
住 民 基 本 台 帳 関 係	569 113,800	818 163,400	378 75,600	178 35,600	5,426 1,062,600
印 鑑 証 明	521 104,000	518 103,200	308 60,200	187 37,400	3,782 749,400
諸 証 明	33 6,600	23 4,400	10 2,000	15 3,000	206 40,000
計	1,711 576,650	1,970 637,000	1,153 415,950	570 187,600	14,883 5,070,750

(2) マイナンバーカード交付申請補助件数

神 社 支 所	大 湊 支 所	浜 郷 支 所	宮 本 支 所	豊 浜 支 所
5 件	5 件	14 件	18 件	8 件
北 浜 支 所	城 田 支 所	四 郷 支 所	沼 木 支 所	合 計
5 件	13 件	8 件	1 件	77 件

(3) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

（款）３．民生費（項）５．人権政策費（目）１．人権施策管理費

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組を実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
7. 6. 4	総会	令和6年度事業報告・決算報告 令和7年度事業計画（案）・予算（案）の承認 場 所 伊勢市役所本庁舎東館5-3会議室	
6. 6	鶴文字	非核平和都市宣言を印刷した折紙で作られた折り鶴を貼り合わせて「PEACE」の文字を作成 完成品は空襲展や原爆被災ポスター展で展示	
6.17 ～12.13	人権尊重啓発 ポスター・標語 募集事業	ポスター募集事業：市内小中学校児童生徒から314点の応募 9月24日、10月9日ポスター審査 （市長賞9点、会長賞16点、奨励賞25点選出） 標語募集事業：市内に在住または通勤通学する15歳以上の方（中学生を除く）から18点の応募 委員の投票により入賞者を決定 （市長賞1点、会長賞1点選出） 作品展示 10月24日～11月 3日イオンタウン伊勢ララパーク 11月 4日～11月13日伊勢市立伊勢図書館 11月14日～11月24日ミタス伊勢	広報いせ7月15日号で公募
7.12	歴代モスト・インプレッシブ・ムービー賞上映会（市と共催）	市制20周年を記念していせ人権映画祭の歴代モスト・インプレッシブ・ムービー賞を上映。瀬木直貴監督の講演も実施。 場 所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール	参加者 92 人
7.15	第1回 人権セミナー	演 題「あの日を語り継ぐ～戦後80年 世界平和への祈り～」 講 師 山口 詔利さん（三重県原爆被災者の会 会長） 場 所 伊勢市役所本庁舎東館5-3会議室	参加者26人

10. 8	第2回 人権セミナー	演 題「在日外国人差別の人権問題」 講 師 文 公輝さん（NP0法人多民族共生人権 教育センター） 場 所 伊勢市役所本庁舎東館5-3会議室	参加者29人
10.21	第1回委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業経過報告、 人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 場 所 伊勢市役所本庁舎東館 5-3会議室	
11.13	第3回 人権セミナー	演 題「身近なあたりまえからあらためて考える 人権」 講 師 栗本 敦子さん（えふらぼ 代表） 場 所 御園公民館 2階講堂	参加者25人
12. 5	街頭啓発	人権週間にあわせ、市民の人権尊重の意識高揚を 目的に、協議会委員による啓発冊子・物品の配布 による啓発活動を実施 啓発場所 市内スーパー等 8 か所 啓発物品配布数 1000 個	参加者29人
12.13	人権講演会 （市と共催）	演 題「インターネット社会と人権 ～コロナ禍 で人権意識がどう変わったのか？～」 講 師 原 清治さん（佛教大学教育学部教授） 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的 ホール	参加者148人
8. 2.12	第4回 人権セミナー	演 題「部落差別をこえて～取材ノートから～」 講 師 臼井 敏男さん（公益財団法人人権教育 啓発推進センター特任講師） 場 所 御園公民館 2階講堂	参加者 24 人
2.14	いせ人権映画祭 （市と共催）	第11回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM いせ人権 映画祭 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的 ホール	参加者 162 人
3.24	第2回委員会	令和7年度事業（見込）及び決算（見込）報告 令和8年度事業計画（案）及び予算（案） 場 所 伊勢市役所本庁舎東館 5-3 会議室	
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	800 袋作成
随 時	人権啓発冊子発行	人権ハンドブックNo.27「部落差別」	

○ 隣保館関係

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財 源 内 訳	
			県補助金	市 費
隣 保 館 運 営 事 業 費	24,216,660 円	19,569,620 円	14,677,000 円	9,539,660 円

2 事業内容

館 別 事業区分		朝熊市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人 権 相 談	0	0	0	0	0	0
	職 業 相 談	2	2	0	0	2	2
	教 育 相 談	0	0	0	0	0	0
	福 祉 相 談	1	1	2	2	3	3
	生 活 相 談	3	3	8	8	11	11
	健 康 相 談	0	0	3	3	3	3
	そ の 他 相 談	1	2	1	1	2	3
講 座	福 祉 介 護 講 座	3	45	4	73	7	118
	成 人 学 習 講 座	4	106	3	49	7	155

3 成人学習講座詳細

項 目 館・回		開催日	場 所	テーマ	講 師	参加 人数
黒 瀬 市 民 館	第1回	7. 6.20	通町公民館	子育ては己育て ～障がいを考える～	西川 恒夫さん	人 12
	第2回	7. 8.22	黒瀬市民館	愛・平和のメロディ	阿部 暖さん 高村 勝さん 西川 牧子さん	25
	第3回	7.10.17	馬瀬町公民館	子どもたちが危ない！ インターネット社会の歩き方！	出口 晃さん	12
朝 熊 市 民 館	第1回	7. 9.26	中村町公民館	第五福竜丸と人権	強力 修さん 阪本 典子さん 二見 正直さん	31
	第2回	7.10.24	楠部町公民館	子育ては己育て ～障がいを考える～	西川 恒夫さん	35

第3回	7.12.16	朝熊市民館	お薬について	村瀬 広和さん	人 23
第4回	8. 2.19	一字田町公民館	心ひらいて楽しむ 絵本と紙芝居	二見 正直さん	17

○ 地区集会所関係

令和6年度末から機能を廃止していた一之木地区集会所の除却を行った。

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
一之木 4丁目 地 内	(注) 一之木地区集 会所解体工事	解体工事一式	円 6,484,500	7.12. 2	8. 1.30

(注) 営繕課施行

○ 人権啓発関係 (款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 2. 人権啓発推進費

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

Ⅰ 人権啓発推進事業

(Ⅰ) 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 活 動	内 容	備 考
広報いせ人権情報掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権情報を掲載し、市民に人権について考える機会を提供した。	随時掲載
地域人権啓発紙の発行	市民館にて地域人権啓発紙を発行。(教育集会所、児童センターほか、課職員が編集に参加) 様々な人権問題をテーマとした記事や施設の活動状況を掲載して、地域住民に人権について考える機会を提供した。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間パンフレット及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用物品と合わせて、企業啓発、関係機関窓口、街頭啓発等で配布した。	パンフレット 1,800枚 啓発物品 (マグネットフ ードクリップ) 2,500個
人権啓発パンフレット及び啓発物品の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、人権18課題を簡潔にまとめた啓発用パンフレット及び啓発物品を作成し、行事等で配布し啓発をした。	パンフレット 3,000枚

人権学習リーフレットの作成	vol.36「違いを超えて！！－外国人の人権を尊重する社会へー」をテーマにしたリーフレットを作成した。	
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	本庁及び各総合支所にて人権パネル展を開催。 本庁・小俣総合支所において懸垂幕を掲出。 市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	
企業啓発	差別をなくす強調月間にあわせ、市内企業を訪問し、啓発活動を実施 【実施企業】神路社、千巻印刷産業、 あおぞら、浜口土木、森組、永南、 みえぎょれん販売、まる天、邦栄会 オールスマイル・ライク、ウィル・ドウ	11社訪問 啓発物品、 パンフレット等 配布数 320個

（２）歴代モスト・インプレッシブ・ムービー賞上映会

市制20周年を記念して、令和7年7月12日に伊勢市ハートプラザみそのにおいて、これまでのいせ人権映画祭で、モスト・インプレッシブ・ムービー賞を受賞した9作品の上映会を行った。上映後は、コメンテーターとして第1回から映画祭に携わっている瀬木直貴監督による記念講演も実施した。（参加者92人）

（３）ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM（いせ人権映画祭）

人権をテーマとした自主制作映像作品を全国の幅広い年齢層から募集し上映することにより映像制作・鑑賞を通して人権に対する意識の啓発と人権感覚の向上を図ることを目的に第11回いせ人権映画祭を開催した。令和8年2月14日、いせトピアにて、選考委員会で選ばれた9作品を上映後、映画監督の瀬木直貴さん、加藤みきお&加藤ひろみちさんによる講評を行った。（参加者162人）

上映作品は下記のとおり。

作 品 名	制 作 者 名	
野本さんと児玉さん	山村 もみ夫。	神奈川県
紡ぐ	ニシーズ	桑名市
あなたの声が世界の始まり	市川 良也	四日市市
あの日、守れなかった君へ	伊勢高等学校 放送部	伊勢市
踏み出す一歩、伝える思い	四日市高等学校 放送部	四日市市
虹を呼ぶ	映像 CUBE	松阪市
ダリア	福岡女学院大学人文学部	福岡県
Another World	小野 光洋	千葉県
ghost	桜丘高等学校 放送部	伊賀市

2 講演会開催事業

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、令和7年12月13日、原 清治さん（佛教大学教育学部教授）を講師に招き、いせトピアにて「インターネット社会と人権～コロナ禍で人権意

識がどう変わったのか?～」と題して人権講演会を開催した。(参加者 148 人)

また、講演会開会行事として、人権尊重啓発ポスター・標語の表彰式を行った。

3 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業

市内各小学校区において、自治会長(区長)、民生委員、人権擁護委員、学校長などが委員となり人権啓発活動を行っている 21 の人権・同和教育推進連絡協議会へ、負担金を支払い、活動の支援を行った。

4 人権啓発講座開催事業

市内の小中学校の保護者及び一般を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身につけた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として 4 回の講座を開催した。(延べ参加者 110 人) 各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加 人数
第 1 回	7. 7. 13	ハートプラ ザみその	子どもの人権	元大阪教育大学教授 園田 雅春 さん	人 27
第 2 回	7. 10. 5	小俣農村環 境改善セン ター	部落差別	志摩市迫間教育集会所 指導員 古橋 雄洋 さん	30
第 3 回	7. 11. 16	御園公民館	インターネットと 人権	一般社団法人ソーシャルメディ ア研究会 チーフ技術指導員 竹内 義博 さん	29
第 4 回	8. 1. 18	御園公民館	性暴力	いなべ総合病院 産婦人科医 川村 真奈美 さん	24

5 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行った。

6 人権擁護委員との連携

法務大臣から委嘱を受け、市内各地域で活動している 17 人の人権擁護委員と連携し人権啓発、人権相談を行った。

○ 非核平和推進事業

(款) 3. 民生費(項) 5. 人権政策費(目) 2. 人権啓発推進費

1 非核・平和第 46 回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、空襲展実行委員会に参画し、8 月 23・24 日に第 46 回空襲展を開催した。

2 原爆被災ポスター展

原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月1日から7月16日まで市内商業施設で、7月18日から7月30日まで御園総合支所と小俣総合支所で、8月1日から8月15日まで本庁と二見総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業への市内各市立中学校生徒代表の参加にあたり、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。（10校×1,100枚）

4 日本非核宣言自治体協議会

日本非核宣言自治体協議会では、核廃絶を求める内容の決議を行った自治体が連携し、平和関連事業を実施、また、核実験を行った国に向けて抗議文書を送るなど、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて様々な事業を行っている。当市においても、協議会の趣旨に賛同し、協議会に加盟、非核・平和推進に向け、活動に協力している。

（非核宣言自治体総数 1,674 自治体、内、協議会会員自治体数 369 自治体：令和8年4月9日現在）

5 平和首長会議

平和首長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起、核兵器廃絶を実現にむけ活動するほか、人類の共存を脅かす諸問題の解決、環境保護等、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とし、この趣旨に賛同する都市（自治体）で構成された機構であり、当市も趣旨に賛同し加盟し平和行政を進めている。

（平和首長会議加盟総数 世界 166 か国・地域 8,573 都市（内、日本国内 1,740 都市）：令和8年5月1日現在）

6 「国際平和デー」の周知

・国際平和デー「鐘の音とともに祈りを」

国連が定めた『国際平和デー』に合わせて、9月21日正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取り組みを実施した。（寺院や教会等 94 か所に参加依頼）

環 境 課

○ 伊勢広域環境組合

伊勢広域環境組合運営事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費
し尿等処理、火葬業務等を、伊勢市、明和町、玉城町、度会町で構成する伊勢広域環境組合で
衛生的、効率的に行った。

業務名	施設	構成市町
し尿等処理業務	クリーンセンター	伊勢市、玉城町、度会町
火葬業務	斎場	伊勢市、明和町、玉城町、度会町

(1) 分担金の推移 (伊勢市分)

区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	千円	千円	千円	千円
クリーンセンター	175,632	202,961	212,363	216,907
斎場	49,054	63,231	67,508	74,111

(2) 分担金内訳 (伊勢市分)

区分	クリーンセンター	斎場	計	備考
	千円	千円	千円	
共通経費	3,497	1,088	4,585	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	213,410	66,422	279,832	実績割 100%
建設経費	0	6,601	6,601	平等割 10%、人口割 90%
公 債 費	0	0	0	—
計	216,907	74,111	291,018	—

(3) クリーンセンター処理実績

区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	kg	kg	kg	kg
総処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	40,917,670	38,736,200	38,760,260	37,666,670
内 伊勢市分	34,222,700	31,918,650	32,200,990	31,427,560

(4) クリーンセンター処理状況

市内のし尿等の収集運搬については、し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 8 社による許可車両 35 台 (本許可車両 25 台、予備車両 10 台) で対応した。

区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	kg	kg	kg	kg
し尿	4,860,040	4,620,220	4,582,910	4,746,080
浄化槽汚泥	29,362,660	27,298,430	27,618,080	26,681,480
計	34,222,700	31,918,650	32,200,990	31,427,560

(5) 斎場利用実績

区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	件	件	件	件
総利用数 (伊勢市・明和町・玉城町・度会町・管外)	2,496	2,483	2,637	2,506
内 伊勢市分	1,774	1,768	1,852	1,796

※胞衣汚物及び霊安室利用を除く。

(6) 斎場利用状況

区分	明和町・玉城町・度会町	管外	伊勢市	計
12歳以上の者	件 593	件 108	件 1,787	件 2,488
12歳未満の者	1	1	1	3
死産児	7	0	8	15
計	601	109	1,796	2,506
胞衣汚物	43 件			
霊安室利用	24 件			

○ 生物多様性保全活動の推進

生物多様性保全活動の一環として動植物の生息・育成状況の把握に努めた。

実施時期	地点	概要
7. 4.23 7. 6. 3 7. 8.19 7.10.22 7.12.23 8. 2.21	勢田川周辺	勢田川のいきものの生息状況を把握することを目的として、採集、写真撮影により種の同定を行い、活動記録をホームページに掲載した。

※生物多様性…多様な生き物が多様な環境に豊かに生息している状態

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づき、飼い犬情報の管理を行った。

区分		4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
登録数		頭 7,141	頭 7,120	頭 6,982	頭 6,868
新規	動物病院	301	236	225	211
	窓口等	148	143	187	188
予防注射接種数		4,535	4,188	4,851	4,273

2 飼い犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬猫共生サポート事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費
犬や猫の適正飼育を促進するため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区分		助成額/件	5 年度		6 年度		7 年度	
			件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額
犬	雄	円 3,000	件 104	円 312,000	件 100	円 300,000	件 116	円 348,000
	雌	4,000	117	468,000	113	452,000	113	452,000
猫	雄	2,500	175	437,500	163	407,500	166	415,000
	雌	3,500	222	777,000	210	735,000	180	630,000
計			618	1,994,500	586	1,894,500	575	1,845,000

3 飼い主のいない猫対策

犬猫共生サポート事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

猫と人が共生できる社会を目指すとともに生活環境の保全を図るため、地元自治会、伊勢保健所、三重県動物愛護推進センター（あすまいる）、公益財団法人どうぶつ基金、動物ボランティアと連携しTNR活動を実施した。また、伊勢市が市内動物病院と委託契約を締結し、TNR活動を実施した。

【TNR実施数】

区分		4年度	5年度	6年度	7年度
三重県動物愛護推進センター実施分	回数	6回	9回	9回	11回
	匹数	34匹	81匹	69匹	62匹
伊勢市委託分	回数	36回	35回	48回	34回
	匹数	56匹	89匹	77匹	62匹

※TNR活動…飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行い、元の場所に戻すことで繁殖を抑制し苦情や殺処分数の減少に寄与する活動

○ 生活排水対策の推進

汚水処理施設整備事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

生活排水処理施設の整備、生活排水対策にかかる啓発について計画的、総合的に推進することを目的に令和7年9月に「第3期伊勢市生活排水対策推進計画」を策定、合併処理浄化槽の設置促進及び共同汚水処理施設の適正管理を推進している。

1 浄化槽設置整備事業補助金

循環型社会形成推進交付金 (款) 17. 国庫支出金 (項) 2. 国庫補助金 (目) 3. 衛生費国庫補助金

小型合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 (款) 18. 県支出金 (項) 2. 県補助金 (目) 3. 衛生費県補助金

合併処理浄化槽の設置を促進するため設置者に対し補助を行った。

(1) 予定処理区域外（予定処理区域内低地等含む。）

【新築】

人槽	設置費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計
5	千円 168	基 55	千円 9,240
7	207	11	2,277
10-50	276	0	0
合計	-	66	11,517

【単独処理浄化槽からの転換】（建替えなし）

人槽	設置費用			配管費用			撤去費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計
5	千円 332	基 2	千円 664	300	件	千円	90	件	千円
7	414	12	4,968		14	3,958		10	900
10-50	548	0	0						
合計	-	14	5,632	-	14	3,958	-	10	900

【単独処理浄化槽からの転換】（建替えあり）

人槽	設置費用			配管費用			撤去費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計
5	千円 332	基 0	千円 0	60	件	千円	90	件	千円
7	414	1	414		1	60		1	90
10-50	548	0	0						
合計	-	1	414	-	1	60	-	1	90

【くみ取りからの転換】

人槽	設置費用			配管費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計
5	千円 332	基 9	千円 2,988	60	件	千円
7	414	1	414		10	600
10-50	548	0	0			
合計	-	10	3,402	-	10	600

（２）予定処理区域内

【新築及び単独処理浄化槽・くみ取りからの転換】

人槽	設置費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計
5	千円 110	件 18	千円 1,980
7	138	1	138
10	182	0	0
合計	-	19	2,118

※予定処理区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外。

2 共同汚水処理施設修繕工事補助金

住民が組織する団体が管理する共同汚水処理施設の適正な維持管理を促進するため、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事（修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以

上)を実施した管理団体に対し補助を行った。

団地名(人槽)	事業費	補助金額	事業概要
大倉うぐいす台団地 (1,400 人槽)	円 1,815,000	円 605,000	原水ポンプ配管修繕
オークランド辻久留台団地 (1,000 人槽)	1,595,000	531,000	接触酸化槽ブロワー修繕 工事 流量調整槽 ブロワー修 繕工事
イトーピアふじが丘団地 (2,800 人槽)	1,650,000	550,000	曝気ブロワ N0.3 修繕 散気装置犠牲電極取替(4 基) ロータリーブロワ取替 汚水ポンプ取替 2 台 (中 継ポンプ槽)
計	5,060,000	1,686,000	—

○ 伊勢市環境審議会

衛生一般事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

市の環境の保全に関する目標、基本的方向及び配慮の指針等について定める第 3 期伊勢市環境基本計画(計画期間:令和 2 年度~令和 11 年度)について、伊勢市環境審議会において計画の進行管理を審議した。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第 11 条の規定に基づき設置

構 成:公共的団体等に所属する者で、その団体の推薦を得たもの 8 人

学識経験を有する者 3 人

その他市長が必要と認める者 4 人

会 長:山村 直紀 氏(三重大学大学院工学研究科准教授)

副会長:萩原 浩司 氏(皇學館大学教育学部准教授)

【開催実績】

	開催日	内容
第 1 回	7. 8. 7	・第 3 期伊勢市環境基本計画における取組の実施状況について ・第 3 期伊勢市環境基本計画・伊勢市気候変動適応計画の令和 7 年度取組計画について

○ 伊勢市環境会議

生活排水対策事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

衛生一般事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

伊勢市環境会議は、伊勢市の環境保全・環境意識の向上を目的に、市民や企業の代表者、行政等により平成 25 年 4 月に発足した。毎月の例会において会員が知恵を出し合い、協力して啓発事

業等を行っている。

実施日	事業名	概要	備考
7. 4.23 7. 6. 3 7. 8.19 7.10.22 7.12.23 8. 2.21	いきもの調査	勢田川のいきものの生息状況を把握することを目的として、採集、写真撮影により種の同定を行い、活動記録をホームページに掲載した。	実施場所 有連橋付近 有連橋付近 有連橋付近 有連橋付近 有連橋付近 有連橋付近
自治会会場 7. 5.11 ～ 7. 6 一般会場 7. 7. 6	勢田川七夕大そうじ	「勢田川を天の川に」をスローガンに、河川浄化と環境意識の啓発として勢田川沿岸で清掃活動を実施した。一般会場と自治会会場を設けて実施した。	参加者 自治会会場 18自治会 783人 一般会場 約200人
7. 5.24	ごみゼロ早朝清掃 ～令和のお木曳ク リーンアップ活動 ～	5月30日の「ごみゼロの日」にちなみ、市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高めるため、「令和のお木曳」行事(御樋代木奉迎奉曳行事等)のクリーンアップ活動として、外宮北御門広場周辺道路、奉曳ルート上で清掃活動を実施した。	参加者 約270人 燃えるごみ 130kg その他のごみ 16kg
7. 6. 2	鳥羽市答志島奈佐の浜海岸清掃、水辺のごみ実態調査	南勢志摩地域海岸漂着物対策連絡会議主催のごみ実態調査に参加した。	
7. 6. 3	身近な水環境の全国一斉調査	全国水環境マップ実行委員会主催の水環境の調査に参加し、勢田川の水質調査を行った。	実施場所 有連橋付近
7. 6. 9 7. 6.10 7. 7.11 7. 7.15 7. 7.17 7. 7.28 7. 8.25 7. 9. 9 7. 9.11	環境出前講座 (園児対象)	保育所・幼稚園等の園児が楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、環境に関する紙芝居、ごみの分別体験や着ぐるみとのふれあいなどを環境出前講座として実施した。	参加者 豊浜西保育所 38人 伊勢けいゆう塾保育園 85人 しごうこども園 68人 小俣幼稚園 61人 明野幼稚園 25人 えがおあけぼの保育園 73人 中須保育園 33人 中島こども園 74人 キッズラボ保育園みその 13人

7. 9.19 7.10.16 7.10.23 7.11. 6 7.11. 7 7.11.12 7.11.18 7.12.11 8. 1.14 8. 1.16 8. 1.20 8. 1.23			まるこ幼稚園 57 人 保育所きらら館 31 人 神宮高倉山幼稚園 14 人 にこにこバインガールスクール 18 人 村松保育園 25 人 東大淀保育園 25 人 えがお保育園 44 人 有滝保育園 9 人 船江保育園 45 人 明倫保育所 28 人 明野幼稚園 26 人 御園第二保育園 51 人
7.7 月 ～7.9 月	MOTTAINAI(もった いない) ポスター コンクール ～「食品ロス」を なくそう! ごみを へらそう!～	物や食べ物を捨てる前に“もっ たいない”と思う気持ちを持 ち、ごみに出す前にもう一度考 える行動ができるよう、子ども たちから広く市民にメッセー ジを発信してもらうため、市内 小中学校へ「食品ロス削減」な どをテーマに作品募集を行っ た。令和 7 年度は市制施行 20 周年記念冠事業として実施し、 「市制 20 周年記念賞」を設け た。伊勢市環境フェアにおいて 受賞者への表彰式を実施し、入 賞作品は市内商業施設等にて 展示するほか、ケーブルテレビ にて放送した。	受賞者 50 人 (応募作品数 328 作品)
7. 7.21	志摩市阿児町国府 白浜海岸における 海岸清掃	「きれいな伊勢志摩づくり」連 絡会議主催の海岸清掃活動に 参加した。	
7. 7.28	環境出前講座 (学童対象)	小学生が楽しみながら環境に ついて興味を持ってもらえる よう、環境に関する紙芝居、環 境クイズ等を実施した。	伊勢学童ひかり塾 17 人
7. 8. 3	いせトピア子ども 夏まつり	特定非営利活動法人まなびの 広場が主催するイベントにて、 貝がらストラップづくりや環 境クイズを行った。また、リサ イクル品・活動写真・いきもの 調査取組等を展示した。	来場者 925 人

7.10. 5	伊勢市環境フェア ～みんなで脱炭素 社会をめざそう！ ～	県営サンアリーナで行われた 伊勢市環境フェアにおいて、環 境意識の啓発を目的に体験ブ ース等を出展した。	来場者 約 10,000 人
7.10.21	二見町神前海岸清 掃活動、水辺のご み実態調査	南勢志摩地域海岸漂着物対策 連絡会議主催のごみ実態調査 に参加した。	
7.11. 2	子どもと一緒に作 ろう！食品ロス削 減クッキング講座	ごみの減量や食品ロスに関す る興味と意識の向上を図り、ご み減量・資源化につなげていく ため、食品ロス削減に係るクッ キング事業を開催した。	参加者 10 組 22 人
7.12. 1 ～12.26	環境会議の活動写 真展示	環境会議の取組を紹介するた め、百五銀行伊勢支店のロビー に活動写真等を展示した。	
7.12.14	みえ環境フェア	メッセウイング・みえで開催さ れた、三重県地球温暖化防止活 動推進センター主催の、みえ環 境フェアに参画し、貝がらスト ラップづくりを行った。また、 活動写真・いきもの調査取組等 を展示した。	来場者 約 5,000 人
8. 1.11	いせトピア子ども 新春まつり	特定非営利活動法人まなびの 広場が主催するイベントにて、 木の実と種でプチオブジェづ くりを行った。また、活動写 真・いきもの調査取組等を展示 した。	来場者 804 人
8. 2. 4 8. 2. 5 8. 2. 6	地球温暖化防止街 頭啓発	地球温暖化防止に関する意識 の向上を図るため、啓発チラシ を配布した。	実施場所 ぎゅーとらラブリー藤 里店 ぎゅーとらうらのはし 店 ぎゅーとら小俣店
8. 2.21	勢田川に親しむ事 業（勢田川ウォッ チング）	勢田川を身近に感じてもらえ るよう、勢田川の名所や生き 物、川の現状等の観察会を実施 した。	参加者 12 人
随時	ボランティア清掃 ごみ袋	少人数での河川等のボランテ ィア清掃を支援するため、ボラ ンティア清掃ごみ袋を希望者 へ配布した。	配布枚数 765 枚

○ 衛生関係

1 防疫

生活環境の保全を目的に、ハチ防護服の貸出を行った。

区分	4年度	5年度	6年度	7年度
ハチ防護服貸出	件 46	件 29	件 29	件 39
台風等による消毒剤配布	4	9	0	0
煙霧消毒	—	—	—	—
ボウフラ等駆除薬剤配布	2	0	0	0

2 公衆浴場に対する支援

衛生一般事業（款）4. 衛生費（項）1. 保健衛生費（目）1. 保健衛生総務費

市内にある公衆浴場の経営の安定を図り、地域住民の保健衛生を確保するため、公衆浴場の修繕等に対して補助を行った。

区分	事業費	補助金額	事業概要
錦水湯	円 977,090	円 487,000	オーバーフロー管交換工事 ポンプ交換 電子マッサージ風呂用機器 井戸配管等改修工事
旭湯	921,030	458,000	エアコン修繕 揚水ポンプ修繕 薬注装置取付工事 ガラス割れ修繕 換気扇取替
計	1,898,120	945,000	—

3 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

衛生一般事業（款）4. 衛生費（項）1. 保健衛生費（目）1. 保健衛生総務費

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等の設置、水質検査を実施した当該地区住民に対し補助を行った。令和7年度は3件の申請があった。

○ 水道法関係

水道法に基づく専用水道、簡易専用水道及び三重県小規模水道条例に基づく水道の届出について、届出受理業務を行った。

区分	6年度		7年度	
	設置届	廃止届	設置届	廃止届
水道法(専用水道)に基づく届出	件 1	件 0	件 0	件 0
水道法(簡易専用水道)に基づく届出	0	0	1	0
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0	0	0

○ 環境教育

衛生一般事業 （款） 4. 衛生費（項） 1. 保健衛生費（目） 1. 保健衛生総務費

1 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成 20 年 7 月 11 日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、教育学部生物学ゼミ及び理科教育学ゼミによる昆虫を活用した環境に関する出前講座を市内小学校で実施するとともに、令和 7 年度から新たに、社会科教育学ゼミによる双六などを活用した SDGs・環境に関する出前講座も市内小学校で実施した。

また、同大学教育学部社会科教育学ゼミとの連携により、伊勢市環境フェアにおいて環境啓発「地球を守ろう！ブロックでアイデアづくりに挑戦！」を実施した。

【出前講座実績】

実施日	小学校名	学年・人数	内容
7. 5. 23	厚生小	1 年生 49 人	昆虫による出前講座
7. 6. 13	早修小	1 年生 17 人、2 年生 12 人	昆虫による出前講座
7. 6. 27	東大淀小	1 年生 8 人、2 年生 6 人、6 年生 13 人	昆虫による出前講座
7. 7. 4	豊浜東小	6 年生 7 人	昆虫による出前講座
7. 9. 11	小俣小	1 年生 57 人	昆虫による出前講座
7. 9. 17	小俣小	1 年生 55 人	昆虫による出前講座
7. 9. 22	東大淀小	3 年生 11 人	昆虫による出前講座
7. 10. 6	豊浜西小	6 年生 20 人	昆虫による出前講座
7. 10. 20	豊浜東小	3 年生 9 人	昆虫による出前講座
7. 12. 2	豊浜東小	3 年生 9 人	SDGs・環境出前講座

2 事業者における環境教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、環境教育に関する協定書を締結している。

協定に基づき、市内の小中学校向けに環境出前講座等を実施した。

また、新たに東邦ガス株式会社及び東邦ガスネットワーク株式会社と協定書を締結し、令和 8 年度から環境教育等に協力いただくこととなった。

【環境出前講座等実績】

実施主体	実施日	小中学校名	学年・人数	内容
中部電力	8. 1. 23	豊浜西小	5 年生 21 人 6 年生 20 人	電気のしくみに関する出前講座
三十三銀行	7. 11. 7	中島小	4 年生 41 人	みえこどもエコ活動 説明
	8. 2. 24	中島小	4 年生 38 人	みえこどもエコ活動 結果
	7. 6. 30	中島小	3 年生 39 人	工場見学、紙芝居
	7. 9. 30	四郷小	5 年生 21 人	工場見学、紙芝居、植樹体験
横浜ゴム	7. 10. 10	早修小	4 年生 23 人	工場見学、マイクロプラスチックの学習

	7.10.31	修道小	1年生 41人	工場見学、紙芝居、どんぐりの種まき体験
	7.11.5	中島小	3年生 38人	植樹体験
	7.11.12	早修小	1年生 16人 2年生 11人	工場見学、紙芝居、植樹体験
	7.11.19	みなと小	4年生 36人	生物多様性保全活動等に関する出前授業
	7.12.12	城田小	3年生 49人	工場見学、紙芝居、植樹体験
河田フェザー	—	—	—	令和7年度 実施なし
パナソニック	—	—	—	令和7年度 実施なし
コカ・コーラ	7.12.4	修道小	4年生 46人	ペットボトルリサイクルを通じた環境保全・資源循環に関する出前授業

<参考：協定年月日及び協定先>

平成23年9月30日 中部電力株式会社（現：中部電力パワーグリッド株式会社）

平成27年1月26日 株式会社第三銀行（現：株式会社三十三銀行）

平成28年1月22日 横浜ゴム株式会社三重工場

令和5年12月27日 河田フェザー株式会社

令和6年1月12日 パナソニック株式会社

令和6年8月9日 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

令和8年1月16日 東邦ガス株式会社、東邦ガスネットワーク株式会社

○ 公害対策事業

公害対策事業 （款）4. 衛生費（項）1. 保健衛生費（目）1. 保健衛生総務費

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の状態を把握するため、三重県環境生活部が厚生中学校に大気環境測定局を設置（昭和63年3月測定開始）し、二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等について測定調査した。結果については、三重県ホームページに掲載されている。

（1）光化学スモッグ発生状況

発令区分	4年度	5年度	6年度	7年度
予報	0回	0回	0回	0回
注意報	0回	0回	0回	0回

2 水質調査

河川や幹線排水路及び海域の水質汚濁状態を把握した。

（1）簡易水質調査実施状況

区分	地点数	項目数	回数
河川	8	7	12
幹線排水路	4	7	12

(2) 主な河川等のBOD調査結果（三重県公表値）

区分	3年度	4年度	5年度	6年度	環境基準
度会橋（宮川）	mg/L 1.0	mg/L <0.5	mg/L <0.5	mg/L <0.5	1 mg/L 以下
宇治橋（五十鈴川）	0.5	0.5	0.6	<0.5	1 mg/L 以下
堀割橋（五十鈴川）	0.9	1.5	1.5	0.9	2 mg/L 以下
大野橋（外城田川）	1.9	2.5	2.2	1.7	3 mg/L 以下
野依橋（外城田川）	1.7	1.9	3.7	1.7	5 mg/L 以下
勢田大橋（勢田川）	2.0	1.9	2.7	3.2	5 mg/L 以下

※数値は75%値

(3) 海域のCOD調査結果（三重県公表値）

区分	3年度	4年度	5年度	6年度	環境基準
伊勢地先海域 （大湊町地先）	mg/L 1.8	mg/L 2.1	mg/L 1.7	mg/L 1.8	3 mg/L 以下

※数値は75%値

3 騒音・振動調査

市内の騒音及び振動の状態を把握するため、環境騒音・道路交通振動について測定した。

(1) 一般環境騒音調査結果

測定地点	用途地域	地域類型	基準値		測定値
小俣町元町	第二種中高層住居 専用住地域	A	昼間	dB 55	dB 44
			夜間	45	32
馬瀬町	無指定	—	昼間	—	40
			夜間	—	30
御園町高向	無指定	—	昼間	—	46
			夜間	—	40

(2) 道路交通騒音調査結果

騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、自動車騒音の常時監視を行った。この調査は、道路環境の各種施策へ反映を図る資料として、環境省の「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況を調査するもの。

測定地点 路線名	用途地域	地域類型	基準値		測定値
小俣町元町 豊浜港小俣線	第二種中高層住 居専用住地域	A	昼間	dB 70	dB 66
			夜間	65	60
馬瀬町 大湊宮町停車場線	無指定	—	昼間	—	68
			夜間	—	61

御園町高向 大湊宮町停車場線	無指定	—	昼間	—	dB 66
			夜間	—	58

(3) 道路交通振動調査結果

測定地点	用途地域	基準値		測定値
岩淵1丁目 伊勢市役所前	近隣商業地域	昼間	dB 70	dB 35
		夜間	65	32

4 悪臭調査

生活環境の保全を図るため、工場・事業場等の事業活動に伴って発生する悪臭について必要に応じて臭気調査を行っている。令和7年度は調査を行わなかった。

5 公害苦情等処理状況

市民から電話、窓口等により寄せられる身の回りに関する苦情について対応した。

区分		5年度	6年度	7年度
典型 7 公害	大気汚染	件 44	件 46	件 43
	水質汚濁	11	3	5
	土壌汚染	0	0	1
	騒音	20	46	23
	振動	1	2	3
	地盤沈下	0	0	0
	悪臭	22	27	19
	小計	98	124	94
その他	草刈り・樹木剪定	134	77	78
	害虫	12	7	9
	動物（犬猫等）	57	49	51
	その他	58	37	26
	小計	261	170	164
合計		359	294	258

6 公害関係法令等に基づく各種届出受理業務

公害関係法令等に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また、特定建設作業に対する各種届出の受理業務を行った。

(1) 特定施設に関する設置等の届出

区分	6年度			7年度		
	設置届	廃止届	その他	設置届	廃止届	その他
大気汚染防止法	件 3	件 3	件 4	件 2	件 2	件 2
水質汚濁防止法	18	5	19	19	10	14
騒音規制法	3	0	2	3	0	1

振動規制法		件 0	件 0	件 3	件 2	件 0	件 0
三重県 生活環境 保全に関 する条例 関係	ばい煙	0	0	0	0	0	0
	炭化水素系物質	0	0	0	0	0	0
	粉じん	0	0	1	0	0	1
	汚水	0	0	0	0	0	0
	騒音	4	1	4	3	1	4
	振動	2	0	0	1	0	2
	揚水設備	1	1	2	0	0	1
ダイオキシン類対策特別措置法		3	0	0	0	1	0
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律		0	0	14	0	0	11
計		34	10	49	30	14	36

(2) 特定建設作業に関する届出

区分	5 年度		6 年度		7 年度	
	法律	条例	法律	条例	法律	条例
騒音	件 42	件 5	件 38	件 21	件 30	件 16
振動	22	3	26	10	20	11
計	64	8	64	31	50	27

(3) その他の法令等に基づく届出等に係る意見

区分	5 年度	6 年度	7 年度
伊勢市土地開発事業指導要綱に基づく事前協議等に係る意見	件 13	件 9	件 12
大規模小売店舗立地法に基づく届出に係る意見	3	0	1
計	16	9	13

○ 地球温暖化防止対策の推進

Ⅰ 環境フェアの開催

脱炭素社会推進事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

市民の皆様に、体験などを通して、環境の状況や取組等を知っていただき、環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得ることを目的とし、令和7年10月5日(日)に、三重県営サンアリーナ(メインアリーナ、屋外)において「伊勢市環境フェア～みんなで脱炭素社会をめざそう!～」を開催し、約10,000人に来場いただいた。

開催に当たっては、環境活動に取り組む事業所や団体、大学等の出展協力を得て、多様な体験等の企画を実施した。

※2025 福祉フェスティバル事業実行委員会(勤労者地域づくり等参画支援事業実行委員会)主催

の「2025 福祉フェスティバル 勤労者ゆとり T・I・M・E you・ゆう・遊ing」と同時開催。

2 環境講座の開催

パナソニック株式会社との連携により「親子で学ぶ！エネルギーの創・蓄・省と工作教室」を実施した。

実施日	実施場所	内容	参加者
7. 7.27	伊勢市生涯学習センターいせトピア	太陽光発電・LED などについての学習、ソーラーハウス工作	11 組 24 人

3 地球温暖化防止の啓発

市民の皆様には地球温暖化への意識を高めてもらい、一人ひとりの行動変容につなげるため、様々な手法により市民啓発を行った。

(1) イベント

実施日	イベント名	実施場所	概要
7. 4.27	厚生ふれあいまつり	厚生小学校	電気自動車の展示・給電 PR、太陽光発電等の共同購入事業 PR、地球温暖化防止啓発チラシ配布
7. 5. 3	YOKOHAMA「ふれ愛まつり 2025」	横浜ゴム株式会社三重工場	電気自動車の展示・給電 PR、太陽光発電等の共同購入事業 PR、地球温暖化防止啓発チラシ配布
7. 5.11	第 29 回「ふれあい広場」	二見老人福祉センター	電気自動車の展示・給電 PR、太陽光発電等の共同購入事業 PR
8. 2.19	電気自動車・気候変動啓発イベント	イオンタウン伊勢ララパーク	電気自動車の展示、気候変動クイズ、地球温暖化防止啓発パネル展示・チラシ配布

(2) 街頭啓発

実施日	実施場所	概要
8. 2. 4	ぎゅーとら ラブリー藤里店	地球温暖化防止啓発チラシ・啓発物品の配布
8. 2. 5	ぎゅーとら うらのはし店	
8. 2. 6	ぎゅーとら 小俣店	

(3) 広報いせ記事掲載

掲載号	タイトル	主な内容
広報いせ 4 月 15 日号	4 月は再配達削減 PR 月間 再配達削減に取り組みましょう！	再配達にならない荷物の受け取り方、再配達による環境負荷・社会的損失
広報いせ 5 月 1 日号	太陽光パネル・蓄電池の共同購入参加者募集中！	太陽光発電設備等共同購入事業 PR
広報いせ 6 月 1 日号	特集 気候変動対策 暑い夏と災害に備える	気候変動がもたらす生活への影響、農作物・健康面・災害への影響に対する専門家インタビュー、クーリングシェルター PR
広報いせ 8 月 15 日号	省エネ家電でおトクにエコに	省エネ家電のメリット、みえデコ活！省エネ家電購入応援キャンペーン PR

広報いせ 2月1日号	2月は省エネルギー月間 光熱費が気になる冬を「ウォーム ビズ」で快適に！ 省エネでお得 な毎日を過ごしませんか？	家庭でできるウォームビズの取組 PR、省エ ネ製品買換ナビゲーション「しんきゅうさ ん」PR
---------------	---	--

(4) 電気バスによる啓発

三重交通株式会社が令和5年度から伊勢市コミュニティバス「おかげバス」として新たに2台導入した小型電気バスについて、市の地球温暖化防止の取組に賛同する株式会社ポケモンの協力を得て、車両内外にポケモンデザインのラッピングを施して運行し、啓発効果を高めている。伊勢市環境フェアで体験乗車を実施した。

4 エコドライブの推進

地球温暖化防止対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、次世代自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策が重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図っている。

令和7年9月5日、JAF三重支部と連携し、市内事業所でエコドライブ座学講習会を開催した。

5 事業所脱炭素化支援補助金

脱炭素社会推進事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

事業所の温室効果ガスの排出削減に向けた取組を促進するため、伊勢市事業所脱炭素化支援補助金制度により、中小企業者が実施する温室効果ガス排出量算定及び省エネルギー診断の受診等に要する費用の一部を補助した。

区分	5年度	6年度	7年度
交付件数	10件	14件	20件
交付額合計	1,136,000円	1,981,000円	1,607,000円

6 太陽光発電設備等設置費補助金

脱炭素社会推進事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

太陽光発電設備等設置費補助金 (款) 18. 県支出金 (項) 2. 県補助金 (目) 3. 衛生費県補助金

再生可能エネルギーの利用を促進し、温室効果ガスの排出削減を図るとともに、分散型エネルギー社会の実現に資するエネルギーの地産地消を促進するため、再生可能エネルギー電力の自家消費を目的とした住宅への太陽光発電設備や定置型蓄電池の設置者に対し、補助金を交付した。

区分	交付件数	交付額合計
太陽光発電設備	17件	5,600,000円
蓄電池	14件	5,925,000円
合計	—	11,525,000円

7 市の事務事業における地球温暖化対策

公共施設等の脱炭素化に向け、公共施設の整備方針や公用車の導入方針及び排出削減目標を示す「伊勢市公共施設等の脱炭素化方針」に基づき、公共施設の新設または改修等を行う際の省エネ対策及び再生可能エネルギーの導入、既存施設におけるLED照明の計画的導入、公用車を新規

導入または更新する際の電動車の導入を推進している。また、令和9年10月に稼働予定の新ごみ処理施設において発電されるCO₂フリーの電力を公共施設で活用するため、伊勢広域環境組合及び構成市町とともに検討を進めている。

このほか、事務活動における省エネルギー、省資源、廃棄物削減等に取り組むとともに、クールビズ等の取組及び意識啓発等を行っている。

【市役所本庁舎及び各総合支所における使用量・排出量の実績】

区分	5年度	6年度	7年度
事務用紙使用量（千枚）	9,408	9,110	8,652
可燃ごみ排出量（袋）	3,499	3,170	3,303
電力使用量（kWh）	1,417,486	1,473,724	1,457,576
ガソリン使用量（L）	84,820	83,167	82,201
軽油使用量（L）	47,660	38,360	36,286

○ 熱中症対策

気候変動適応法改正に伴い制度化された指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）について、公共施設18か所及び協定締結した民間施設2か所を指定し、熱中症特別警戒情報が発表された際に開設することとしている。

○ 墓地関係

Ⅰ 市営墓地管理

市営大世古墓地、大湊墓地、小俣若山墓地及びやすらぎ公園墓地を効率的に管理するため、業務委託等を行い墓地の環境整備を行った。やすらぎ公園墓地は、令和8年1月より伊勢市が管理する市営墓地となった。

（Ⅰ）管理区画数

区分	3.3㎡以下	3.3㎡超 6.6㎡以下	6.6㎡超 9.9㎡以下	9.9㎡超	計
大世古墓地	区画 934	区画 485	区画 89	区画 101	区画 1,609
大湊墓地	805	80	7	2	894
小俣若山墓地	1,235	0	0	0	1,235
やすらぎ公園墓地	5,185	1,933	281	381	7,780
計	8,159	2,498	377	484	11,518

※令和8年3月末時点

(2) 使用状況

墓地使用料 (款) 16. 使用料及び手数料 (項) 1. 使用料 (目) 3. 衛生使用料

墓地名	新規使用	返還	残数
	区画	区画	区画
大世古墓地	6	22	220
大湊墓地	1	6	80
小俣若山墓地	4	14	59
やすらぎ公園墓地	3	38	1,557
小俣若山納骨堂	1	0	273
計	15	80	2,189

※令和8年3月末時点

永代管理手数料 (款) 16. 使用料及び手数料 (項) 2. 手数料 (目) 2. 衛生手数料

墓地名	新規	累計
	区画	区画
やすらぎ公園墓地 (永代管理区画)	7	336

(3) 物品販売状況

物品販売等収入 (款) 23. 諸収入 (項) 5. 雑入 (目) 5. 衛生費収入

墓地名	しきみ	さかき	色花
やすらぎ公園墓地	9本	12本	8本

(4) 業務委託

墓地管理運営事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大世古墓地	市営大世古墓地管理等業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	円 1,379,000	7. 4. 1	8. 3. 31
大湊墓地	市営大湊墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	486,000	7. 4. 1	8. 3. 31
小俣若山墓地 及び納骨堂	市営小俣若山墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	721,310	7. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市役所 環境課	伊勢市墓地管理システム運用保守業務委託	墓地管理システムの運用保守	567,600	7. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市役所 環境課	伊勢やすらぎ公園墓地管理システムデータ移行業務委託	霊園システム内の一部データを既存墓地管理システムへ移行	1,914,000	7. 10. 16	7. 12. 26
伊勢市役所および伊勢やすらぎ公園管理事務所	墓地管理システム用端末追加作業等業務委託	追加システム用端末のネットワーク接続運用設定	880,000	7. 11. 6	7. 12. 26

伊勢やすらぎ公園管理事務所	(注) ネットワーク設定等(拠点追加)業務委託	行政情報ネットワークの開設	円 245,300	7.11.18	7.12.19
大世古墓地	石材処分業務委託	無縁墓石等の処分	83,952	7.12.18	8.2.5
伊勢やすらぎ公園管理事務所	システム保守業務委託	霊園墓地システムの運用保守	231,000	8.1.1	8.3.31
伊勢やすらぎ公園管理事務所及び線香場等	伊勢やすらぎ公園管理事務所及び墓所内線香場等清掃業務委託	管理事務所及び線香場の清掃	79,056	8.1.5	8.3.31
伊勢市役所環境課	やすらぎ公園墓地追加データ移行業務委託	霊園システム内の利用者等データの移行	165,000	8.1.8	8.1.23
大世古墓地	無縁墓石等撤去及び改葬業務委託	無縁墓石等の撤去集積、撤去区画の埋蔵物を調査のうえ収蔵	517,000	8.1.15	8.2.12
伊勢やすらぎ公園墓地	伊勢やすらぎ公園永代管理墓地除草及び献花業務委託	永代管理墓地区画内の除草及び献花作業	125,368	8.3.4	8.3.16
計	—	—	7,394,586	—	—

(注) デジタル政策課施行

(5) 賃借業務

墓地管理運営事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

賃借名	賃借期間	賃借料
墓地駐車場賃借(小保若山墓地)	7.4.1～8.3.31	240,000 円

(6) 備品購入

墓地管理運営事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

購入先	品名	概要	金額	納品日
株式会社 アイ・シー・エス	デスクトップ パソコン	霊園墓地システム用端末 の追加	137,500 円	7.11.13

(7) 墓地使用料還付金

墓地管理運営事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

やすらぎ公園墓地において、令和8年1月から3月までにあった墓所の返還(未使用区画)に伴う墓地使用料還付金23件、3,446,000円を使用者へ返還した。

(8) 積立金

墓地管理運営事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

やすらぎ公園墓地において、永代管理使用を許可した7区画分の永代管理手数料6,314,000円を伊勢やすらぎ公園墓地基金へ積み立てた。

(9) 墓地管理手数料収納状況

墓地管理手数料 (款) 16. 使用料及び手数料 (項) 2. 手数料 (目) 2. 衛生手数料

区分	予算現額	調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現年度分	円 4,300,000	円 4,339,090 (6,300)	円 4,297,400 (6,300)	円 0 (0)	円 41,690 (0)	% 99.0
滞納繰越分		103,240	5,210	32,330	65,700	5.0
計	4,300,000	4,442,330	4,302,610	32,330	107,390	96.9

※括弧内の数字については、やすらぎ公園墓地分

(10) 墓地管理手数料収納件数及び割合

区分		収納件数	割合
口座振替		件 1,363	% 42.22
窓口 納付	コンビニ等	1,266	39.22
	金融機関・市窓口	599	18.56
合計		3,228	100

2 共同墓地整備事業補助金

墓地整備事業 (款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

自治会等が管理する共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し補助を行った。

区分	事業費	補助金額	備考
黒瀬町中崎共同墓地	円 198,000	円 66,000	道具保管庫整備費
今一色区墓地	168,300	56,000	フェンス等整備費
大世古町営墓地	991,100	330,000	樹木伐採費
中久保・湯田野組共同墓地	2,607,000	869,000	フェンス等整備費
前山町墓地	562,100	187,000	焼香場整備費
古市・久世戸共同墓地	2,070,200	690,000	給排水整備費
小木町墓地	970,000	323,000	通路整備費
天神・小町塚墓地	1,399,200	466,000	通路整備費、階段整備費
計	8,965,900	2,987,000	

ごみ減量課

○ ごみの適正処理関係

Ⅰ ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

(1) ごみ排出量の推移

種 別	3年度	4年度	対前年度増減	5年度	対前年度増減	6年度	対前年度増減	7年度	対前年度増減
燃えるごみ	39,701 ^t	39,231 ^t	△1.2 [%]	37,894 ^t	△3.4 [%]	36,361 ^t	△4.0 [%]	35,358 ^t	△2.8 [%]
粗大ごみ	1,417	1,225	△13.5	1,249	△2.0	1,248	△0.1	1,240	△0.6
小 計	41,118	40,456	△1.6	39,143	△3.2	37,609	△3.9	36,598	△2.7
資源物	6,040	5,680	△6.0	5,407	△4.8	5,484	1.4	5,383	△1.8
缶・金属類	903	824	△8.7	815	△1.1	753	△7.6	687	△8.8
投棄場搬入量	160	148	△7.5	159	7.4	138	△13.2	96	△30.4
合 計	48,221	47,108	△2.3	45,524	△3.4	43,984	△3.4	42,764	△2.8

※対前年度増減(%) = (当該年度－前年度) / 前年 × 100

※資源物は、小型家電製品の収集量を含む。

(2) ごみの各平均排出量

区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
各年度末人口 ^(人)	122,580	121,222	119,706	118,179	116,849
各年度末世帯数 ^(世帯)	55,905	56,086	56,245	56,354	56,536
総ごみ排出量 ^(t)	48,221	47,108	45,524	43,984	42,764
1日平均排出量 ^(t/日)	132.11	129.06	124.72	120.50	117.16
1日1人平均排出量 ^(g/人・日)	1,077.76	1,064.68	1,041.91	1,019.67	1,002.68
1日1世帯平均排出量 ^(g/世帯・日)	2,363.16	2,301.16	2,217.50	2,138.34	2,072.34

※各年度末人口・世帯数は町別統計（住民基本台帳）を引用

(3) 処理経費の推移

区 分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
処理経費	円 2,108,353,271	円 2,117,209,702	円 2,046,752,945	円 2,177,504,382	円 2,155,472,320
ごみ1t当りの 処理経費	43,723	44,944	44,960	49,507	50,404
1人当りの 処理経費	17,200	17,466	17,098	18,425	18,447
1世帯当りの 処理経費	37,713	37,749	36,390	38,640	38,126

※処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値（人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。）

2 資源物の資源化

市内に設置した資源ステーションや資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に搬入されたガレキ類について、中間処理施設の民間業者へ搬入し、ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の委託・売却量、その他の推移は、次のとおりであった。

(1) 資源びんの委託量等の推移

区 分	5 年度		6 年度		7 年度	
	委託量	委託料	委託量	委託料	委託量	委託料
無色	kg 342,990	円 90,549	kg 312,290	円 178,630	kg 302,220	円 219,412
茶色	258,520	279,822	233,790	416,614	228,750	419,711
その他の色	138,720	196,538	127,630	240,353	130,400	231,799
計	740,230	566,909	673,710	835,597	661,370	870,922

(2) その他資源物の委託量等の推移

区 分	5 年度		6 年度		7 年度	
	委託量	委託料	委託量	委託料	委託量	委託料
プラスチック類	kg 907,610	円 4,733,011	kg 987,485	円 6,771,062	kg 967,384	円 8,557,071
ガラス・くずびん類	190,590	5,031,576	180,400	4,961,000	166,950	4,407,480
陶磁器類	293,150	11,608,740	281,160	11,443,212	270,280	10,703,088
乾電池	45,870	4,692,501	45,320	4,636,236	36,090	3,771,405
蛍光管	15,930	1,664,685	15,610	1,631,245	9,940	1,049,664
ガレキ類	97,600	263,384	170,730	1,163,735	133,160	1,020,000

※プラスチック類の令和4年度はプラスチック製容器包装。令和5年度以降は、プラスチック製容器包装とプラスチック製品の合算の委託量、委託料を計上。

※ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びん等のこと。

(3) ペットボトルの売却量等の推移

区 分	5 年度		6 年度		7 年度	
	4 月～9 月	10 月～3 月	4 月～9 月	10 月～3 月	4 月～9 月	10 月～3 月
売却量 (kg)	187,930	144,050	189,280	145,260	183,230	146,440
売却額 (円)	7,931,567	4,150,256	5,413,408	4,298,624	5,616,303	2,980,054

(4) 紙類・布類等の売却量等の推移

資源ごみ売却収入 (款) 23. 諸収入 (項) 5. 雑入 (目) 5. 衛生費収入

種 別		5 年度		6 年度		7 年度	
		売却量	売却額	売却量	売却額	売却量	売却額
新聞・折込チラシ		kg 413,130	円 5,257,260	kg 344,570	円 5,179,406	kg 305,900	円 5,309,158
雑誌・雑紙類		832,870		866,660		851,550	
段ボール		739,290		721,140		702,230	
飲料用紙パック	200ml 以外	22,200		21,730		21,560	
	200ml	0		0		0	
布・衣類		165,050	円 136,457	163,970	円 55,253	156,080	円 30,619
鉄くず		3,350		3,360		1,050	
廃食用油		22,965ℓ		24,055ℓ		20,575ℓ	
計		-	5,520,024	-	5,366,961	-	5,452,939

※「雑誌・雑紙類」はシュレッダーを含む

(5) 資源化率の推移

年 度	5 年度	6 年度	7 年度
資源化率	21.9%	23.6%	22.2%

※資源化率＝（再生資源回収団体の資源回収量＋市の資源回収量＋清掃工場焼却処理残渣【焼却灰】）／（再生資源回収団体の資源回収量＋ごみ総排出量）×100

3 調査事業

(1) 燃えるごみの組成調査

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入等分別の状況を把握した。

実施日 令和7年10月23日及び24日

品 目	割 合	品 目	割 合
生ごみ	% 38.92	布・衣類	% 1.63
燃えるごみ	29.51	プラスチック製容器包装	4.21
雑誌・雑紙類	9.28	プラスチック製品	1.92
新聞・折込チラシ	1.04	ペットボトル	0.55
飲料用紙パック	0.65	紙おむつ	6.53
禁忌品	1.4	缶・金属類	0.91
段ボール	1.07	その他	0.42
刈草・剪定枝	1.96		

(2) プラスチックの組成調査

令和6年4月から全市プラスチック類を分別回収し、プラスチック製品とプラスチック製容器包装の組成調査を実施した。(年2回)

回収プラスチックの内訳	回収量 (kg)	プラスチック全体に占める割合 (%)
①プラスチック製容器包装	717.1	93.2
②プラスチック製品	33.1	4.3
③不適物	19.3	2.5
④プラスチック全体 (①+②+③)	769.5	100

○ 伊勢広域環境組合

伊勢広域環境組合負担金（ごみ） (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合が、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう負担金を支出した。また、現在のごみ処理施設においては老朽化が著しいことから、新ごみ処理施設の更新に向けて伊勢広域環境組合と連携し、取り組んでいる。

分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	ご み	粗大ごみ	計	
共通経費	千円 7,250	千円 1,142	千円 8,392	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	442,341	69,585	511,926	実績割 100%
建設経費	482,725	—	482,725	平等割 10% 人口割 90%
公債費	84,022	—	84,022	元利補給金
清掃事業所負担金	4,003.8	—	4,003.8	
計	1,020,341.8	70,727	1,091,068.8	

○ きれいなまちづくり推進関係

きれいなまちづくり推進事業 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

1 路上喫煙対策

〈路上喫煙パトロール等〉

令和2年8月1日から開始となった「路上喫煙禁止区域」について、伊勢市駅・宇治山田駅前周辺エリアと内宮周辺エリアにおいて、禁止区域内での喫煙者への指導、たばこ等ポイ捨ての清掃、周辺店舗等への聞き取り、案内用看板等の状況確認等を行うために、定期的にパトロールを実施した。また、令和7年8月1日には喫煙禁止区域で街頭啓発を実施した。

【実績】たばこポイ捨て本数 区域内 233 本、区域外 808 本 指導数 1 回

〈路上喫煙対策審議会〉

伊勢市路上喫煙対策審議会を開催し、現況の報告、路上喫煙禁止区域の課題等について、審議を行い、意見をもらった。

構成：学識経験者（1名）、公共的団体の代表者（1名）、関係団体の代表者（3名）、関係行政機関の職員（1名）

2 伊勢市環境会議（ごみ関係）

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

実施期間	実施事業名	概要	備考
7. 5. 24	ごみゼロ早朝清掃 ～令和のお木曳ク リーンアップ活動 ～	5月30日の「ごみゼロの日」にちなんだ市民の環境美化意識の啓発と、「令和のお木曳」行事（御樋代木奉迎奉曳行事等）が開催されることから、そのクリーンアップ活動として、外宮北御門広場周辺道路にて清掃活動を実施した。	参加者 約 270 人 燃えるごみ 130 kg その他のごみ 16kg
7. 7～7. 9	MOTTAINAI（もったいない）ポスターコンクール ～「食品ロス」をなくそう！ごみをへらそう！～	物や食べ物を捨てる前に“もったいない”と思う気持ちを持ち、ごみに出す前にもう一度考える行動ができるよう、子どもたちから広く市民にメッセージを発信してもらうため、市内小中学校へ「食品ロス削減」等をテーマに作品募集を行った。令和7年度は市制施行20周年記念冠事業として実施し、「市制20周年記念賞」を設けた。伊勢市環境フェアにおいて受賞者への表彰式を実施し、入賞作品は市内商業施設等にて展示するほか、ケーブルテレビにて放送した。	受賞者 計 50 人 (応募作品数 328 作品)
7. 6～8. 3	環境出前講座 (園児対象)	保育所・幼稚園等の園児が楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、環境に関する紙芝居、ごみの分別体験や着ぐるみとのふれあい等を環境出前講座として実施した。	実績 21 回

7. 7. 28	環境出前講座 (学童対象)	小学生が楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、環境に関する紙芝居、環境クイズ等を実施した。	17 人
7. 11. 2	子どもと一緒に作ろう！食品ロス削減クッキング講座	ごみの減量や食品ロスに関する興味と意識の向上を図るため、市内在住の小中学生とその保護者を対象に、食品ロス削減に係るクッキング事業を開催した。	参加者 10 組 22 人

○ 廃棄物集積所設置補助金関係

廃棄物集積所設置補助金 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

燃えるごみの排出場所の集積化を促進することで、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱防止、市民の美化意識の高揚及び良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会に対し補助金を交付した。

交付状況

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
5 年度	件 16	基 51	円 6, 168, 583
6 年度	15	34	4, 850, 505
7 年度	31	37	4, 384, 315

※利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

○ 不法投棄防止対策推進関係

不法投棄防止対策推進事業 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

1 防止対策

自治会からの要望等に基づき看板を設置する等不法投棄の未然防止に努めた。

2 通報への対応

通報を受けた場所が公共用地の場合は、投棄物を調査し、投棄者の特定を行っている。投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。

なお、投棄場所が私有地の場合、所有者に連絡して対応を求めた。

主な不法投棄物の回収状況

年 度	テレビ	冷蔵庫 冷凍庫	洗濯機 衣類乾燥機	エア コン	タイヤ	消火器	ガス ボンベ	金庫等
5 年度	台 61	台 8	台 5	台 4	本 102	本 59	本 12	台 21
6 年度	38	9	7	1	42	93	4	9
7 年度	26	4	2	0	51	50	0	1

○ 廃棄物一般経費関係

廃棄物一般経費 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

伊勢市廃棄物減量等推進審議会の開催

ごみの排出状況、伊勢市ごみ処理基本計画の進捗状況の報告及びごみ減量・資源化に向けた施策の取り組みについて審議を行い、意見をもらった。

【廃棄物減量等推進審議会】

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条の規定に基づき設置

構 成：学識経験者（2名）、市民（1名）、事業者等（2名）、地域住民組織（3名）、再生資源事業者（1名）、関係行政機関（2名）

○ 再生資源回収事業奨励金関係

再生資源回収推進事業 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登 録 団体数	交 付 団体数	回 収 量					奨 励 金 交 付 額
			紙 類	布 類	金 属 缶 類	計	びん	
5年度	団体 149	団体 125	kg 1,014,083	kg 22,845	kg 26,367	kg 1,063,295	本 169	円 3,190,270
6年度	143	119	949,748	23,635	25,816	999,199	125	2,997,870
7年度	145	120	923,011	21,030	23,087	967,128	107	2,901,610

※ 1 kg 当たり 3 円、リターナブルびんについては 1 本当たり 3 円の奨励金を交付した。

○ ごみ減量化容器設置補助金関係

ごみ減量化容器設置補助金 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
5年度	件 85	基 85	円 1,688,000
6年度	89	89	1,850,000
7年度	75	75	1,573,000

○ ごみ減量・資源化事業一般関係

ごみ減量・資源化事業一般経費 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

1 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして51自治会より推薦された83名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみの分別や出し方の指導等の役割を依頼した。

2 企業広告関係

企業広告収入 (款) 23. 諸収入 (項) 5. 雑入 (目) 5. 衛生費収入

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、ごみカレンダー (掲載箇所16枠) 及び資源拠点ステーション (16施設24枠) において広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

広告媒体	広告掲載数	収入額
ごみカレンダー	16 枠	480,000 円
資源拠点ステーション	4 施設 7 枠	105,000 円

○ MOTTAINAI 推進事業

MOTTAINAI 推進事業 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

1 3Rの推進

(1) 食品ロス削減に関する取組

ア 事業者との連携

市内でスーパーマーケットを展開している事業者9社及び三重県、市民団体で構成される「減らそに！いせの食品ロス協議会」において、賞味期限・消費期限の近くなった食品の廃棄を低減させる「2025 すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」(10月1日から10月31日まで)を実施し、573 通の応募があり食品ロス削減につながった。

イ フードドライブの取組

伊勢市社会福祉協議会と株式会社ファミリーマートと連携して、家庭にある余剰の食品を市内17か所のファミリーマート提携店舗へ持ち込んでもらい、支援の必要な方へ届ける「ファミマフードライブ」に取り組んでいる。

また、令和7年8月28日から伊勢市社会福祉協議会と株式会社セブンーイレブン・ジャパンと連携して、家庭にある余剰の食品を市内8か所のセブンーイレブン・ジャパン提携店舗へ持ち込んでもらい、支援の必要な方へ届ける「セブンーイレブンフードライブ」に取り組み、375.81 kg (ファミマ 346.18 kg、セブン 29.63 kg) の食品の回収を行った。

(2) 雑がみ類の資源化に関する取組

市内の小学生を対象に、夏休みの期間を利用して雑がみの分別に挑戦する「雑がみチャレンジ」を実施し、市内の小学校11校がこの取組に参加し、児童404名が合計967 kgを分別・資源化した。また、これまで資源化できなかった紙類の資源化を推進するため、「トイレの

紙さまプロジェクト」(これまで資源化できなかった紙類をトイレトペーパーにリサイクルする取組)を実施し、50,826 kgの回収を行った。

なお、希望する市民に「雑がみ回収袋」を配布して雑がみの分別を推進した。

(3) 生ごみの水切りに関する取組

市内の小学生を対象に、夏休みの期間を利用してごみの減量に挑戦する「ごみゼロチャレンジ」を実施した。市内の小学校12校がこの取組に参加し、児童208名が生ごみの水切り等に取り組んだ。

また、小学校での出前授業において、生ごみの水切りに関する啓発を行った。

(4) マイボトル・マイカップ運動

ペットボトルやプラスチック製カップ等使い捨てプラスチックごみの発生抑制を推進していくため、マイボトル・マイカップ運動を展開し、企業訪問やホームページで取り組みを紹介し、マイボトル推進事業者として2事業所が取り組みに参加した。

(5) 草・木類等再資源化事業

ごみの減量・資源化を図るため、自治会等の活動により発生した刈草、木等の一般廃棄物を市内民間事業者へ搬入し、再資源化した。また、環境フェアなどのイベントで再資源化された堆肥やチップを展示するほか、配布を行い、啓発した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地	草・木類等再資源化業務委託	引取量 草 32.79 t 木くず 0.18 m ³ 生木(枝葉、幹) 234.55 m ³ 生木(根) 3.07 m ³	円 3,997,587 【単価契約】 ◇草 45,000 円/t(税抜) ◇木くず 9,000 円/m ³ (税抜) ◇生木(枝葉、幹) 9,000 円/m ³ (税抜) ◇生木(根、株) 15,000 円/m ³ (税抜)	7. 4. 1	8. 3. 31

(6) ごみ減量の輪プロジェクト

伊勢市におけるごみ減量の機運向上を図ることを目的に、事業者と協力して進めている「トイレの“紙さま”プロジェクト」等の事業や事業者が実施するごみの減量や資源化の取り組みを「ごみ減量の輪プロジェクト」として一体的に推進するため、市内の商業団体等へ周知を行った。

2 啓発・教育の推進

(1) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

「MOTTAINAI～3R+リスペクト～」をタイトルとした MOTTAINAI 推進事業の啓発(リチウムイオン電池の出し方等)を中心に、その時期に応じた内容の記事を広報に掲載し、ご

みの減量・分別の啓発に努めた。

また、ケーブルテレビ行政放送（おしらせ番組）でも同様の啓発に努めた。

イ キャラクターを使った啓発

皇學館大学の学生と協働で作成した「ごみ分別PRキャラクター（かもしかのごみバスターズ）」を幼稚園・保育園への環境出前講座等の啓発活動に出演させ、ごみの減量・資源化の啓発に努めた。

ウ SNS等を使った啓発

広く市民に情報を促進するツールとして、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やアプリを活用し、ごみの適正分別・適正排出の推進及び市民の利便性の向上に繋げた。

SNS等一覧	登録数	内容
ごみ分別アプリ 「さんあ〜る」	7,174人	・ごみ分別カレンダー表示 ・ごみ分別一覧表（検索機能） ・収集日アラート配信 ・インフォメーションの配信 ・ごみに関するクイズの配信 ・有料粗大ごみ回収の申請 ・小動物死がい及び不法投棄通報フォーム
LINE	37,257人 うちごみ分別・収集情報 8,567人	・AIチャットボット ・有料粗大ごみ回収の申請
Facebook	52人	・ごみの減量に関する情報や、ごみ減量課の取組、かもしかのごみバスターズの着ぐるみが参加するイベント情報などを配信
Instagram	130人	

エ ごみ減量フェスティバルの開催（環境フェアと同時開催）

実施日 令和7年10月5日

実施内容 冷蔵庫整理術に関する講演、ミニ・キエーロ作成体験コーナー、家具リユース無料譲渡抽選会、フリーマーケット、分別ゲームコーナー等を実施

（2）ごみの分別等についての出前授業等

希望する学校・団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について、出前授業等を実施した。（開催回数 延べ19回、参加人員 延べ528人）

○ 再資源分別回収関係

再資源分別回収事業 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

Ⅰ 資源物の収集状況

品目	収集場所
プラスチック類、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類	資源ステーション
プラスチック類、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類、乾電池、蛍光灯、廃食用油（※廃食用油は厚生資源拠点ステーションは除く）	資源拠点ステーション
乾電池、蛍光灯、廃食用油	市内公共施設の一部

2 委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を伊勢市シルバー人材センター、旧伊勢市地区の缶・金属類、資源びん、紙・布類、プラスチック類、ペットボトル、二見町地区の缶・金属類除く資源物、小俣町地区の缶・金属類除く資源物、御園町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務を一般競争入札により民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区の燃えるごみ、ガラス・くずびん類及び陶磁器類、二見町地区の燃えるごみ及び缶・金属類、小俣町地区の燃えるごみ及び缶・金属類の収集運搬業務を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化事業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区）に基づき、旧伊勢市地区の4業者、小俣町地区の2業者に委託した。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	資源物回収袋洗浄等業務委託	回収袋の洗浄及び補修業務委託一式	円 14,333,006 【単価契約】 1,086～1,466 円/人 事務費11%	7. 4. 1	8. 3. 31
伊 勢 市 地 内 (旧 伊 勢 市 地 区)	一般廃棄物収集運搬 (その1) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託（燃えるごみ）一式	60,511,000	7. 4. 1	8. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その2) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託（燃えるごみ）一式	32,329,000	7. 4. 1	8. 3. 31

伊勢市 市内 (旧伊勢市 地区及び二見 町地区)	一般廃棄物収集運搬 (その3)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類)一式	円 111,980,000	7.4.1	8.3.31
伊勢市 小俣町 市内	一般廃棄物収集運搬 (その4)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類)一式	54,065,000	7.4.1	8.3.31
伊勢市 市内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬 (その7)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、ガラ ス・くずびん類、陶磁器類) 一式	61,600,000	7.4.1	8.3.31
伊勢市 小俣町 市内	一般廃棄物収集運搬 (その8)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類)一式	14,652,000	7.4.1	8.3.31
伊勢市 二見町 市内	一般廃棄物収集運搬業 務委託(缶・金属類を 除く資源物)(二見町地 区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(資源びん、紙・布類、 プラスチック類、ペットボ トル、ガラス・くずびん類、 陶磁器類)一式	19,596,000	7.4.1	8.3.31
伊勢市 市内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬業 務委託(資源びん)(旧 伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(資源びん)一式	48,024,000	7.4.1	8.3.31
〃	一般廃棄物収集運搬業 務委託(紙・布類)(旧 伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(紙・布類)一式	59,400,000	7.4.1	8.3.31
〃	一般廃棄物収集運搬業 務委託(プラスチック 類)(旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(プラスチック類) 一式	93,161,900	7.4.1	8.3.31
〃	一般廃棄物収集運搬業 務委託(ペットボトル) (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(ペットボトル)一式	35,112,200	7.4.1	8.3.31
〃	一般廃棄物収集運搬業 務委託(缶・金属類)(旧 伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(缶・金属類)一式	72,600,000	7.4.1	8.3.31

伊勢市御地	一般廃棄物収集運搬業務委託（御蔭町地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（燃えるごみ、缶・金属類、資源びん、紙・布類、プラスチック類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類）一式	円 30,716,900	7. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市小地	一般廃棄物収集運搬業務委託（缶・金属類を除く資源物）（小俣町地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（資源びん、紙・布類、プラスチック類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類）一式	20,844,000	7. 4. 1	8. 3. 31
計	15 件	—	728,925,006	—	—

3 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成 14 年度から順次開設している。開設状況としては、令和 8 年 3 月末現在で 19 か所（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御蔭及び明野）を開設し、支所での管理のほか、公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

（1）委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
船江4丁目地内ほか	資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	円 16,115,312 【単価契約】 1,086～1,466 円/人 事務費 11%	7. 4. 1	8. 3. 31
宮後2丁目地内	伊勢中央資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	2,090,000	7. 4. 1	8. 3. 31
宇治浦田2丁目地内	宇治資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	730,000	7. 4. 1	8. 3. 31
中須町地内	城田資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	730,000	7. 4. 1	8. 3. 31
計	4 件	—	19,665,312	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

（2）工事関係

早修資源拠点ステーションの受電ボックス内の機器、部品が劣化、老朽化しており、故障により停電する可能性が高くなっていることから、機器交換等の改修工事を行った。

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
常 磐 Ⅰ 丁 目 地 内	早修資源拠点ステーション 受電ボックス改修工事	早修資源拠点ステーション 受電ボックス改修工事一式	円 196,000	7. 9. 3	7. 9.26

4 ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップをプラスチック類として分別回収しているが、市民がペットボトルキャップ回収・寄附活動運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーションや各総合支所生活福祉課等にペットボトルキャップ回収容器を設置した。

回収状況

年 度	重 さ	個数(約)	ポリオワクチン
5年度	kg 11,559.0	個 4,970,370	人分 5,778.0
6年度	12,489.0	5,370,270	6,244.5
7年度	11,996.0	5,158,280	5,998.0

○ じん芥収集一般関係

じん芥収集一般事業 (款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. じん芥処理費

Ⅰ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）の収集を直営及び民間委託により行っている。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の4市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また令和7年度においては、ハッピーマンデーや山の日、秋分の日、年末に臨時収集を行った。

(1) 収集体制

ア 収集車両

所管している車両 19 台

単位：台

3tパッカー	2tパッカー	2tプレス	2tダンプ
2	2	2	4
2tパワーリフト	2tトラック	軽四ダンプ	軽四トラック
2	1	4	2

イ 収集人員

一般廃棄物の収集を職員23名の人員で行った。

2 収集状況

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、各地区において週2回収集を業務委託により行った。有料収集については、戸別に粗大ごみの収集を行った。町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により自治会毎に年1回、業務委託により収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その1） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運 搬業務（可燃系粗大ごみ） 一式	円 14,124,330 【単価契約】 360,000 円/日（税抜） 12t 超えた収集 運搬単価 30,000 円/t	7. 4. 1	8. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その2） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運 搬業務（非圧縮粗大ごみ） 一式	5,634,641 【単価契約】 142,500 円/日（税抜） 3t 超えた収集 運搬単価 47,500 円/t	7. 4. 1	8. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その3） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運 搬業務（金属混成粗大ご み）一式	4,412,760 【単価契約】 120,000 円/日（税抜） 4t 超えた収集 運搬単価 15,000 円/t	7. 4. 1	8. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その4） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運 搬業務（自転車）一式	5,056,480 【単価契約】 143,000 円/日（税抜） 100 台超えた収集 運搬単価 200 円/台	7. 4. 1	8. 3. 31
計	4 件	—	29,228,211		

3 一般廃棄物処理手数料

じん芥収集手数料 (款) 16. 使用料及び手数料 (項) 2. 手数料 (目) 2. 衛生手数料

(1) 有料収集、小動物の死体の処理

粗大ごみ等の有料収集やペットとして飼われていた小動物の死体の収集について、手数料を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
粗大ごみ等	件 892	円 2,772,770
小動物の死体	37	39,320
合計	929	2,812,090

(2) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物の処理

火災及び風害被災者の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	風害被害者	計
件数	2	0	2

4 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けている高齢者や身体が不自由な方等、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行う、

ふれあい収集事業を実施した。

また、利用希望者の申請をもとに、3名の実施を決定した。

収集実績 52回、収集量 6,360kg 収集決定対象者 33名（令和8年3月末現在）

5 廃棄物投棄場管理事業

投棄場使用料（款）16. 使用料及び手数料（項）1. 使用料（目）2. 衛生使用料

（1）搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊 勢			小 保			計		
	車数	搬入量	使用料	車数	搬入量	使用料	車数	搬入量	使用料
市民自己搬入分	車 209	kg 50,504	円 137,870	車 162	kg 41,691	円 111,510	車 371	kg 92,195	円 249,380
公共関係搬入分	2	2,358	-	2	1,120	-	4	3,478	-
計	211	52,862	137,870	164	42,811	111,510	375	95,673	249,380

（2）委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進し、廃棄物投棄場を適正管理するため、搬入されたガレキ类等（ガレキ類、アスファルト類、瓦類、陶器類、レンガ、石類）の再資源化業務委託、
廃棄物投棄場の地下水等の水質調査を行った。

施行場所	委託名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 内 地	ガレキ类等再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 （コンクリート（無筋）） 7.31 t ガレキ類 （コンクリート（有筋）） 81.58 t 瓦類（色無し、色有り） 22.73 t 陶器類 （タイル、陶器くず） 2.51 t レンガ 3.49 t 石類 15.54 t	円 1,020,000 【単価契約】 ◇ガレキ類 （コンクリート（無筋）） 1,100 円/t（税抜） ◇ガレキ類 （コンクリート（有筋）） 1,500 円/t（税抜） ◇アスファルト類 1,100 円/t（税抜） ◇瓦類 （色無し、色有り） 18,000 円/t 税抜） ◇陶器類 （タイル、陶器くず） 18,000 円/t 税抜） ◇レンガ 18,000 円/t 税抜） ◇石類 18,000 円/t 税抜）	7. 4. 11	8. 3. 31
伊 勢 市 内 地	伊勢廃棄物投棄場ほか地下水等水質調査	6 か所	1,056,000	7. 5. 14	7. 8. 29
計	2 件	—	2,076,000	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(3) 工事関係

小俣廃棄物投棄場等を適正に維持管理するため、設備の予防対策及び整備を行った。

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
小俣町新村 地 内	小俣廃棄物投棄場法面整備工事	法面整備工事一式	円 198,000	7.12.11	8. 2.20
//	(注1) 小俣廃棄物投棄場ガス抜き管延長工事	H° 祢式角形蛇籠設置32m 管設置一式 土砂等運搬170m³	1,980,000	8. 1.30	8. 3.13
御園町小林 地 内	旧御園廃棄物投棄場土砂流出対策工事	大型土のう（耐候性）設置	489,500	8. 3.16	8. 3.23
計	3 件	—	2,667,500	—	—

(注1) 基盤整備課施行